USB FPServer

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7137-00 Rev.A 020426

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。
本製品に付属の電源アダプターは 100V で動作します。

付属の電源アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の電源アダプターを使用してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ボート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）

シンナー類不可

はじめに

この度はUSB対応100M/10Mプリントサーバー「corega USB FPServer」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は本製品を正しくご利用いただくための手引きです。
必要な時にいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール作業を行うコンピューター機種として「AT互換機/PC98-NXシリーズ」を想定しています。
「AT互換機/PC98-NXシリーズ」では、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。
本書の記述内容と使用するコンピューターのドライブ名が異なる場合は、読み替えてください。

- フロッピーディスクドライブ …… A:
- 起動ドライブ(ハードディスク) …… C:
- CD-ROMドライブ …… D:

本製品の最新情報

本製品に関する最新情報(ファームウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせします。

無線LANに関する情報や活用例などもご紹介しておりますので、是非、弊社のホームページをご覧ください。

corega のホームページ http://www.corega.co.jp/

ご注意

・本製品に装着して使用可能であることを保証する無線LANカードは、次の通りです。
　corega Wireless LAN PCCB-11
　その他の製品の動作確認等につきましては、検証が済み次第コレガのホームページ上に掲載いたします。
　http://www.corega.co.jp/
・本製品には、無線LANカードが含まれていません。
　無線LAN環境でご使用になる場合は、別途無線LANカードをご用意ください。
・本製品は、双方向通信モードで使用することはできません。
・本製品は、USB HUBに接続せず、直接プリンタに接続してご使用ください。
・本製品は、WPS(Windows Printing System)に対応しておりません。
・本製品を有線LANに接続する場合、次のケーブルをご用意ください。
　コンピューターと本製品を直接接続する場合：UTPクロスケーブル
　本製品をHUBに接続する場合：　　UTPストレートケーブル
・無線LANに関する注意事項につきましては、本装置に装着する無線LANカードの取扱説明書を参照してください。

　この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
　取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の読みかた

各ページの構成と記号について説明します。

章見出し

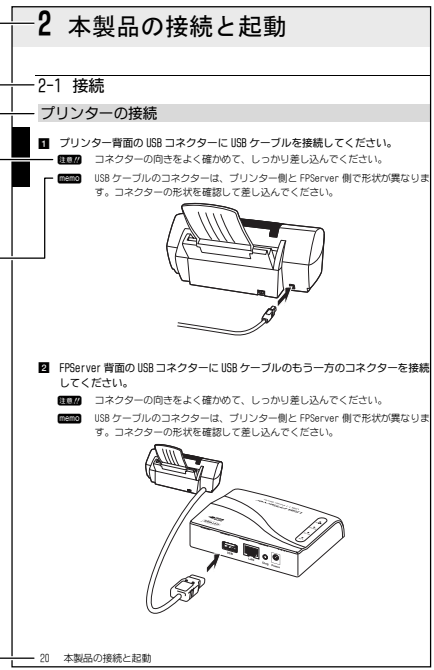
中見出し

小見出し

注意
操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。

メモ
補足事項や知っていただきたい内容です。

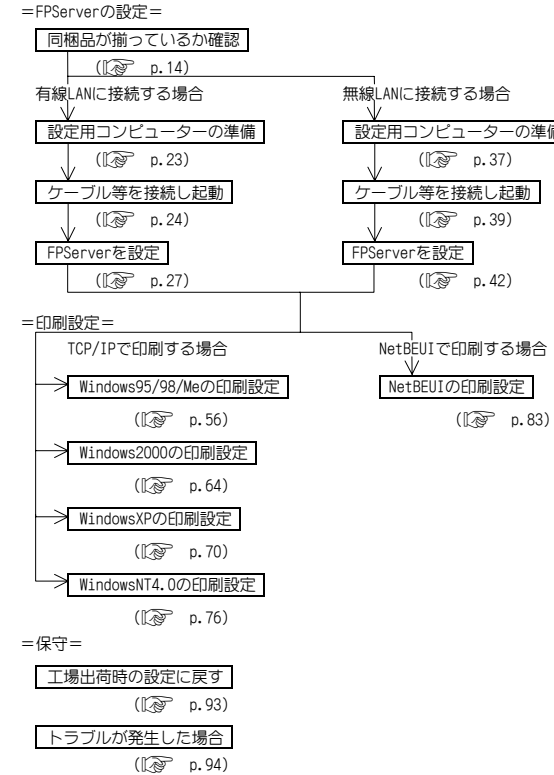
ページ



memo このページは、取扱説明書の読み方を説明しています。
実際のページ内容とは異なります。

設定の流れ

本製品を使用するには、設定作業が必要です。およそ以下のような流れで設定作業を行ってください。



目　次

はじめに…… 4
ドライブ名「A:」「C:」「D:」…… 4
本製品の最新情報…… 4
ご注意…… 5
本書の読みかた…… 6
設定の流れ…… 7
目　次…… 8

1 製品の概要 …… 12
1-1 特長…… 12
1-2 動作環境…… 12
1-3 ユーティリティーディスクについて…… 13
1-4 パッケージの確認…… 14
1-5 各部の名称と機能…… 15
1-6 有線 LAN と無線 LAN について…… 18
有線 LAN への接続…… 18
無線 LAN/有線 LAN の混在環境(Infrastructure モード)…… 19
無線 LAN への接続(無線 LAN のみ)…… 20
無線 LAN/有線 LAN の混在環境(Ad-hoc モード)…… 21
1-7 無線 LAN について…… 22
無線 LAN を構成する要素…… 22

2 設定用コンピューターの準備(有線 LAN) …… 23
2-1 設定用コンピュータの構成…… 23
2-2 TCP/IP 設定 …… 23

3 本製品の接続と起動(有線 LAN) …… 24
3-1 プリンターの接続…… 24
3-2 有線 LAN の接続…… 25
3-3 起動…… 26

4 設定(有線 LAN) ····· 27
4-1 設定の流れ····· 27
4-2 設定の開始····· 28
4-3 サーバー設定····· 30
4-4 NetBEUI 設定 ····· 32
4-5 TCP/IP 設定 ····· 34
4-6 再起動····· 36

5 設定用コンピューターの準備(無線 LAN) ····· 37
5-1 設定用コンピュータの構成····· 37
5-2 無線 LAN 設定····· 37
5-3 TCP/IP 設定 ····· 38

6 本製品の接続と起動(無線 LAN) ····· 39
6-1 プリンターの接続····· 39
6-2 無線 LAN カードの接続····· 40
6-3 起動····· 41

7 設定(無線 LAN) ····· 42
7-1 設定の流れ····· 42
7-2 設定の開始····· 43
7-3 サーバー設定····· 45
7-4 NetBEUI 設定 ····· 47
7-5 TCP/IP 設定 ····· 49
7-6 無線 LAN 設定····· 51
7-7 再起動····· 54

8 コンピューターからの印刷 ····· 55
8-1 印刷環境について ····· 55
印刷環境 ····· 55
8-2 TCP/IP で Windows95/98/Me から印刷する ····· 56
LPR PLUS のインストール ····· 56
プリンターポートの設定 ····· 59
設定の確認 ····· 62
8-3 Windows2000 から印刷する ····· 64
Standard TCP/IP Port の設定 ····· 64
8-4 WindowsXP から印刷する ····· 70
Standard TCP/IP Port の設定 ····· 70
8-5 WindowsNT4.0 から印刷する ····· 76
Microsoft TCP/IP 印刷のインストール ····· 76
プリンターの設定 ····· 80
8-6 NetBEUI を使用して印刷する ····· 83

9 その他の機能 ····· 88
9-1 サーバステータスの参照 ····· 88
9-2 プリンタステータス ····· 90
9-3 無線接続状況 ····· 91
9-4 工場出荷時状態に戻す ····· 93

10 トラブルシューティング ····· 94
10-1 FPServer の設定が正常にできない ····· 94
10-2 無線 LAN カードを装着したコンピューターと通信できない ····· 94
10-3 正常に印刷できない ····· 95
10-4 その他 ····· 95

付録 ・・・

1 製品の概要

1

1-1 特長

corega USB FPServer(以下、「FPServer」と略します)は、次の特長を持つ、プリントサーバーです。

- USBインターフェースによりプリンターを接続できます。
- 100M/10MのEthernetに対応しています。
- LPRソフトウェアが標準添付(Windows95/98/Me用)されています。
- 無線LANカードを装着することで、無線通信環境でも使用できます。

memo 対応無線LANカードについては、コレガのホームページを参照してください。(http://www.corega.co.jp/)

1-2 動作環境

- 対応プロトコル
  NetBEUI、TCP/IP
  注意!! WindowsXPは、NetBEUIプロトコルに対応していません。
- 対応OS
  Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP Professional(32bit)・Home Edition
  注意!! プリンター自体が、対応しているOSでのみご使用いただけます。
- 対応プリンター
  USB1.1準拠ポートを備えたプリンター
  注意!! 双方向通信機能については、各プリンターで独自の仕様になっているため、対応していません。
  注意!! USB HUBを使用せずに、本製品とプリンターを直接接続してください。
  注意!! USB-パラレル変換ケーブルでは、ご使用いただけません。
- 対応無線LANカード
  corega Wireless LAN PCCB-11
  注意!! 無線LANで使用する場合は、無線LANカードを別途購入してください。
  注意!! 上記無線LANカード以外は、基本的にサポート対象外となっています。
  memo PCCB-11以外の無線LANカードにおける動作確認状況については、coregaホームページを参照してください。(http://www.corega.co.jp/)

1-3 ユーティリティーディスクについて

ユーティリティーディスクには、Windows95/98/Me用のLPRソフトであるLPR PLUSが格納されています。
Windows95/98/Meで本製品を利用される場合は、LPR PLUSをインストールしてください。

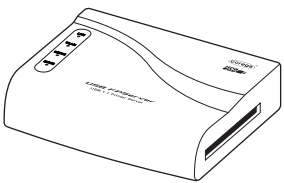
memo WindowsNT4.0/2000/XPでは、LPR機能がOSに標準で搭載されています。
詳細につきましては、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1-4 パッケージの確認

本製品パッケージの内容は次の通りです。

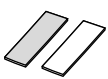
memo　下記以外に添付紙が同梱される場合があります。

商品についてご確認いただき、万一不足するもの等がございましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまでご連絡ください。



corega USB FPServer 本体×１台

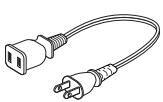
取扱説明書×1 冊
（製品保証書付き）



マジックテープ×1 対

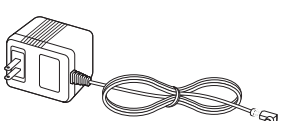
ユーティリティーディスク×1 枚

USB ケーブル×1 本



延長用電源ケーブル×1 本

シリアル番号シール×3 枚

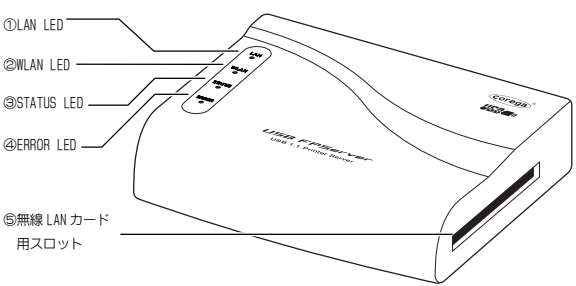


AC アダプター×1 個

1-5 各部の名称と機能

表面

① LAN LED(緑)	有線LANの通信状態を確認できます。 点灯：10Mか100Mで有線LANに接続 点滅：データ送受信中 消灯：有線LAN未接続
② WLAN LED(橙)	無線LANの通信状態を確認できます。 点滅：データ送受信中 消灯：データの送受信以外
③ STATUS LED(緑)	電源の状態を確認できます。 点灯：プリンターへ印刷可能 点滅：プリンターへデータ送信中 消灯：プリンター未接続
④ ERROR LED(赤)	エラーの状態を確認できます。 点灯：ハードウェアトラブル発生 点滅：プリンターケーブル未接続 消灯：正常動作中
⑤無線LANカード用スロット	無線LANカードを装着します。



背面

⑥ 電源コネクター

ACアダプターを接続してください。

⑦ Diagボタン

押したまま電源をONにすることで、設定内容を初期化することができます。

memo 初期化を行った場合、FPServerのLEDが次のように点灯します。

1. WLAN/STATUS/ERRORが同時に一回点滅
2. 全LED消灯後、WLAN→STATUSと一回ずつ点滅
3. ERRORが数回点滅し、点灯状態になったら初期化完了

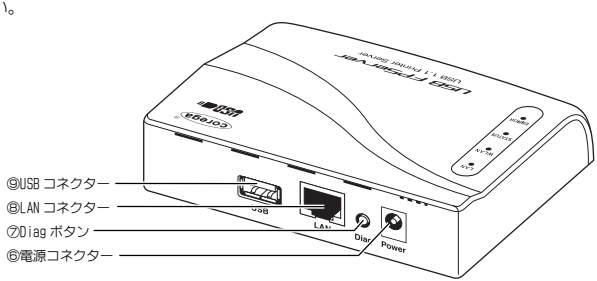
この間、Diagボタンを押したままにしておいてください。

⑧ LANコネクター

有線LANに接続するための、LANケーブルを接続してください。

⑨ USBコネクター

プリンターに接続されているUSBケーブルの、もう一方のコネクターを接続してください。

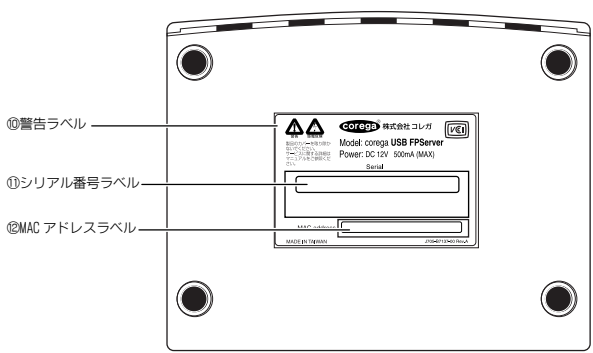


裏面

⑩ 警告ラベル
本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されています。
必ずお読みください。

⑪ シリアル番号ラベル
本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。
同一シリアル番号のラベルが3枚同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。
同梱されているシリアル番号ラベルのうち、1枚を「製品保証書」に貼付してください。
残る2枚は、予備です。
シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへ問い合わせていただく際に、必要な情報です。

⑫ MACアドレスラベル
本製品のMACアドレスが記入されています。



1-6 有線 LAN と無線 LAN について

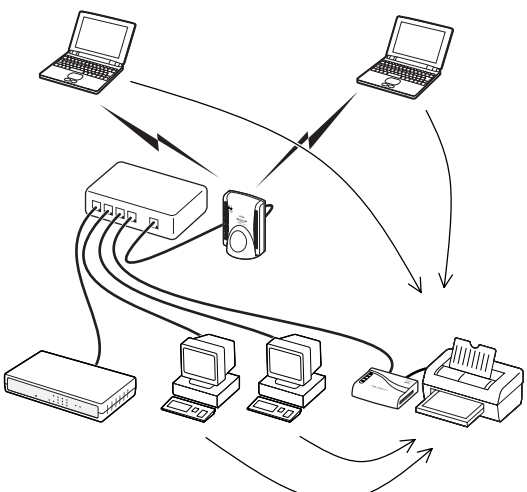
FPServerは有線LANおよび無線LANのどちらにも接続できます。
それぞれの接続形態について説明します。

有線 LAN への接続

既に有線LANが構築されていたり、高速な印刷が必要な場合に有効な接続形態です。
FPServerは、10/100Mbpsの有線LANインターフェースが装備されており、高速な印刷に対応できます。

こちらの接続形態をご利用になる場合の具体的な設定手順については、2,3,4章を参照してください。

memo 有線LANに接続したFPServerに無線LANのステーションからアクセスポイント経由で印刷することができます。



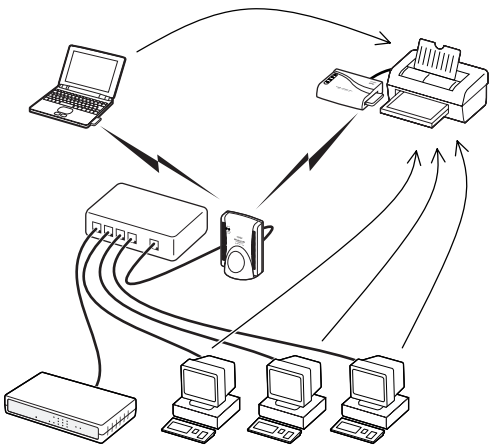
無線 LAN/有線 LAN の混在環境(Infrastructure モード)

有線LANと無線LANが混在している環境で、FPServerを有線LANに接続せず、無線LAN側に接続することができます。

こちらの接続形態をご利用になる場合の具体的な設定手順については、5,6,7章を参照してください。

memo 無線LANに接続したFPServerに、有線LANからアクセスポイント経由で印刷することができます。

memo 本製品をInfrastructureモードに設定して使用している場合は、FPServerの有線LAN機能を使用することはできません。



memo 無線LAN機器が存在している場合でも、アクセスポイントを利用したInfrastructureタイプの無線LANを構築している場合には、FPServerを有線LANに接続するほうが、より安定した性能を得ることができます。

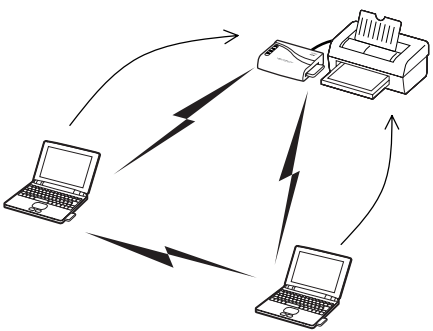
無線 LAN への接続(無線 LAN のみ)

無線LAN機器のみで構成されるAd-hoc(Ad-hoc/802.11 Ad-hoc)タイプのネットワークの場合、FPServerに無線LANカードを装着することで、無線LANネットワークに接続することができます。

次図に示すように、ステーションのみでネットワークを構築する際に、使用してください。

こちらの接続形態をご利用になる場合の具体的な設定手順については、5,6,7章を参照してください。

注意!! Ad-hoc(Ad-hoc/802.11 Ad-hoc)モードに設定した無線LAN機器は、アクセスポイントとは通信できません。



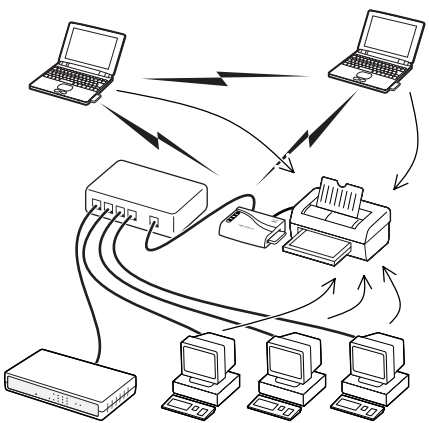
無線 LAN/有線 LAN の混在環境(Ad-hoc モード)

有線LANとAd-hoc(Ad-hoc/802.11 Ad-hoc)モードの無線LANが混在している環境で、FPServerを使用する場合は、有線LANおよび無線LANの両方からFPServerに対し、印刷を行うことができます。

こちらの接続形態をご利用になる場合の具体的な設定手順については、5,6,7章を参照してください。

memo 無線LANで使用しているコンピューターと、有線LANで使用しているコンピューターが、相互に通信できるようになるわけではありません。

memo 通常の運用ではこのような構成にすることはありませんが、機能的には対応可能です。



1-7 無線 LAN について

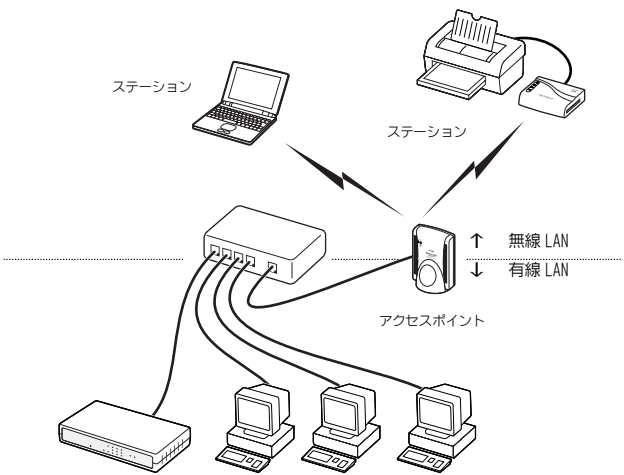
無線 LAN を構成する要素

無線LANはステーションと、アクセスポイントから構成されます。

・ステーション
無線LANカードなどを装着したコンピューターやFPServer。

・アクセスポイント
無線LANと有線LANとを接続するための機器。

memo FPServerは無線LANカードを装着することにより、ステーションとして使用できます。



memo 無線LANと有線LANが混在した環境で本製品を使用する場合、無線LANの動作モードはAd-hoc(Ad-hoc/802.11 Ad-hoc)モードのみ使用することができます。Infrastructureモードでの使用はできません。

2 設定用コンピューターの準備(有線LAN)

本章では設定用コンピューターがLANに対し有線で接続されている場合の、コンピューターの準備について説明しています。

2-1 設定用コンピューターの構成

FPServerの設定を行うためには、次の条件を満たすコンピューターが必要です。

- IEEE802.3bに準拠した有線LANカードが装備されている
- TCP/IPが組み込まれている
- Microsoft Internet Explorer 4.0またはNetscape Navigator 4.78以上がインストールされている

memo LANカードの取り付け方法や、設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書を参照してください。

memo Windows95/98/Meから印刷を行う場合には、LPR PLUSをインストールするためのCD-ROMドライブが必要です。

memo NetBEUIで印刷する場合であっても、本製品の設定を行うコンピューターには、TCP/IPが組み込まれている必要があります。

2-2 TCP/IP 設定

FPServerの設定を行う場合は、設定用コンピューターに以下のTCP/IP設定を行っておく必要があります。

IPアドレス　：192.168.0.1～192.168.0.254の範囲のIPアドレス
ただし、192.168.0.240を除く

サブネットマスク　：255.255.255.0

注意!! 初回設定時には、設定用のコンピューターにIPアドレスを手動で設定してください。
IPアドレスを自動的に取得する設定にしないでください。

注意!! 本書では設定用コンピューターの、運用時のIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。
- 設定用コンピューターのIPアドレス値：192.168.0.3
- 設定用コンピューターのサブネットマスク値：255.255.255.0

設定の際には、実際の値に読み替えてください。

memo TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書、または各OSの説明書を参照してください。

3 本製品の接続と起動(有線 LAN)

3-1 プリンターの接続

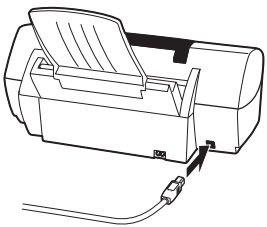
memo プリンターをFPServerに接続する前にコンピューターと直接接続し、正常に印刷ができることを確認してください。
プリンターの接続方法やドライバーのインストール方法については、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

3

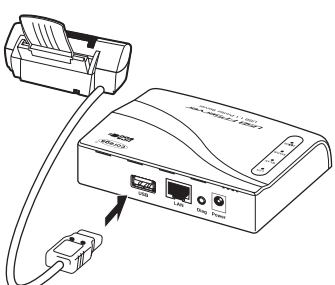
1 プリンター背面のUSBコネクターにUSBケーブルを接続してください。

注意!! コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

memo USBケーブルのコネクターは、プリンター側とFPServer側で形状が異なります。
コネクターの形状を確認して差し込んでください。



2 FPServer背面のUSBコネクターにUSBケーブルのもう一方のコネクターを接続してください。



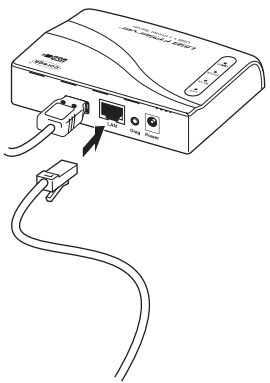
3-2 有線 LAN の接続

memo 無線LANのみでFPServerを使用する場合には、本操作は不要です。
「6-2 無線LANカードの接続」(p.40)を参照して無線LANカードを接続してください。

1 HUBからのLANケーブルをFPServer背面のLANコネクターに接続してください。

注意!! コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

注意!! HUBと接続する場合には、UTPストレートケーブルを使用してください。



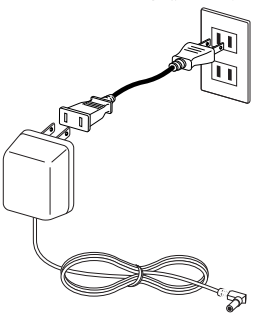
HUB へ

3-3 起動

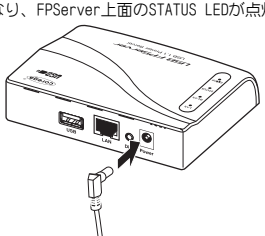
1 プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。

2 設定に使用するコンピューター、HUB、および無線LANアクセスポイント等の電源をONにし、それぞれの機器が完全に起動したことを確認してください。

3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。



4 FPServer背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続してください。
FPServerの電源がONになり、FPServer上面のSTATUS LEDが点灯します。



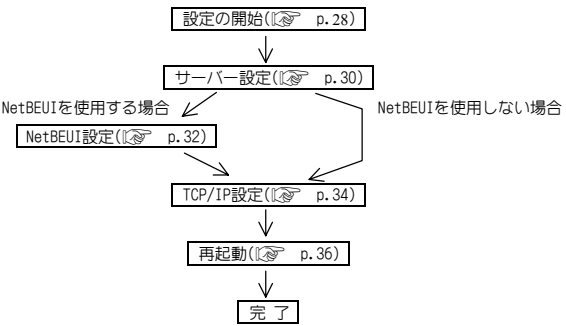
memo LEDの詳しい表示については「1-5 各部の名称と機能」(☞ p.15)を参照してください。

4 設定(有線 LAN)

FPServerには設定用のWebサーバーが内蔵されており、Webブラウザーから接続することで、FPServerの詳細な設定内容を変更することができます。

注意!! Webインターフェースを利用してFPServerの設定を行うためには、以下の条件を満たすWebブラウザーが必要です。
・Internet Explorer 4.0またはNetscape Navigator 4.78以上

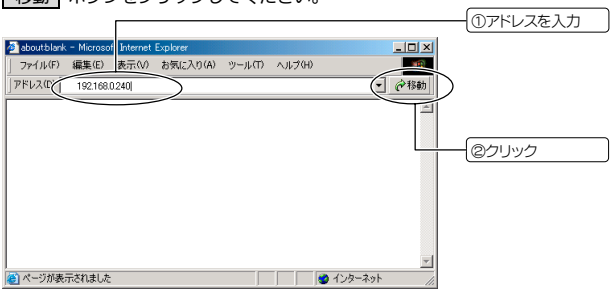
4-1 設定の流れ



4-2 設定の開始

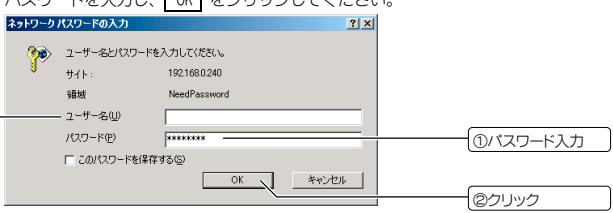
1 Webブラウザーを起動し、アドレス欄にFPServerのIPアドレスを入力してください。

2 移動 ボタンをクリックしてください。



memo 購入後初めてFPServerを設定する場合や初期化を行った場合、FPServerのIPアドレスは、192.168.0.240になっています。

3 本製品にパスワードを設定している場合は、次のウィンドウが表示されます。パスワードを入力し、OK をクリックしてください。



memo パスワードを設定していない場合には、本ウィンドウは表示されません。

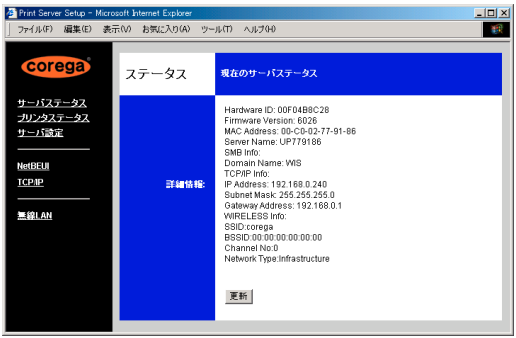
memo 「ユーザー名」には、特に何も入力する必要はありません。

4 設定用のページが表示されます。

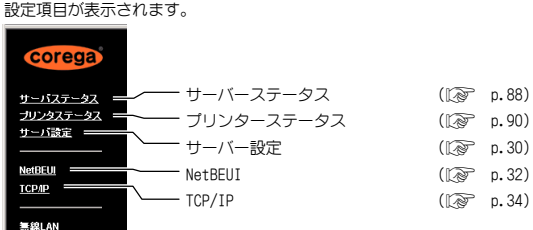
次のページ以降の説明を参照して、設定を行ってください。

注意!! WWWブラウザーにオフラインや、プロキシサーバーの設定がされている場合には、本装置の設定用ページを表示できないことがあります。
そのような場合には、これらの設定を解除してください。(☞ p. 100)

memo 設定ページは、左側のメニューフレームと右側の設定フレームからなります。

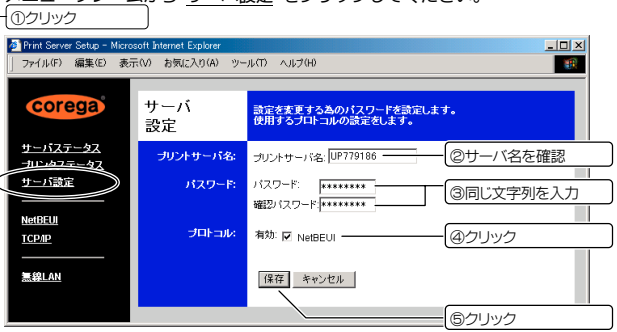


memo メニューフレームの各項目をクリックすることで、設定フレームに対応する設定項目が表示されます。



4-3 サーバー設定

1 メニューフレームから サーバ設定 をクリックしてください。



2 プリントサーバ名を確認してください。

コンピューターからは、ここに入力した名称のプリントサーバーが認識されます。
また、必要に応じて任意の名称に変更することができます。

memo 通常は変更する必要はありません。

memo 同一ネットワーク上の他の機器と同じ名前を使用することはできません。

memo 工場出荷時設定では、UPにMACアドレスの下6桁をあわせた名称になっています。

3 パスワードを入力してください。

「パスワード」および「確認パスワード」欄にパスワードとして用いる文字列を入力してください。

memo パスワードとして用いることのできる文字列は、次の通りです。
- 半角アルファベット(A～Z、a～z)
- 半角数字(0～9)
- 全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2バイト文字)は、使用できません。
入力できる文字数は、最大19文字です。

memo 工場出荷時設定では、パスワードが設定されていません。

memo　入力したパスワードは、セキュリティーの観点より"*"（アスタリスク）で表示されます。
また、セキュリティーの観点から、パスワードを設定することをお勧めします。

4 NetBEUIプロトコルを使用してプリンター共有を行いたい場合は、NetBEUIにチェックを入れてください。

memo　コンピューター側にもNetBEUIプロトコルを組み込む必要があります。
NetBEUIの組込方法につきましては、別途参考書等をご覧ください。

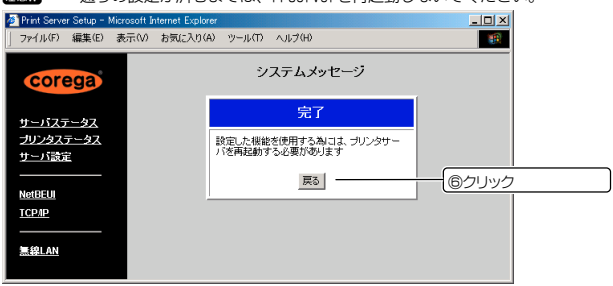
5 設定内容を確認し、保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo　再起動後、新しい設定内容が動作に反映されます。

6 戻る をクリックしてください。

注意!!　一通りの設定が済むまでは、FPServerを再起動しないでください。

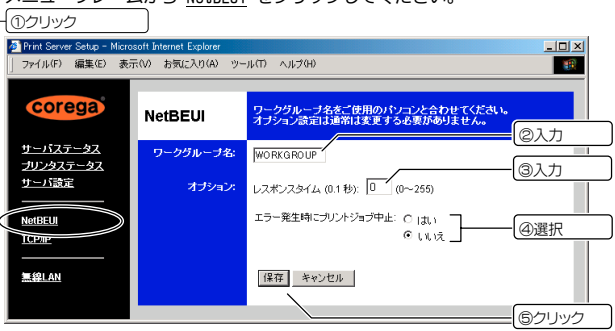


4-4 NetBEUI 設定

サーバー設定において、NetBEUIを選択した場合のみ本設定が必要です。
NetBEUIを選択していない場合は、本設定を行わず「4-5 TCP/IP設定」(☞ p.34)に進んでください。

memo 本章のオプション設定項目については、通常変更する必要はありません。

1 メニューフレームから NetBEUI をクリックしてください。



2 ワークグループまたはドメイン名を入力してください。
コンピューターに設定されているものと同じワークグループ名を入力する必要があります。

memo ワークグループ名として用いることのできる文字列は、次のとおりです。
- 半角アルファベット(A~Z)
- 半角数字(0~9)
- 全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2バイト文字)、および、小文字の英文字は使用できません。
入力できる文字数は、最大19文字です。

3 レスポンスタイムを入力してください。
プリンターのデーター受信性能が、FPServerのデーター送信性能を下回っている場合、プリンターが正しく印刷データーを受け取ることができず、印刷が正常に行えないことがあります。
そのような場合には、レスポンスタイムを増やしてください。

memo デフォルトでは、"0"に設定されています。

memo 通常は、変更する必要はありません。

4 エラー発生時に印刷を中止するかどうかを選択してください。

はい　　エラー発生時に、エラーの発生した印刷がキャンセルされます。
いいえ　エラーが発生しても、印刷を継続します。

memo　デフォルトでは、"いいえ"に設定されています。

memo　通常は、変更する必要はありません。

5 保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo　再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

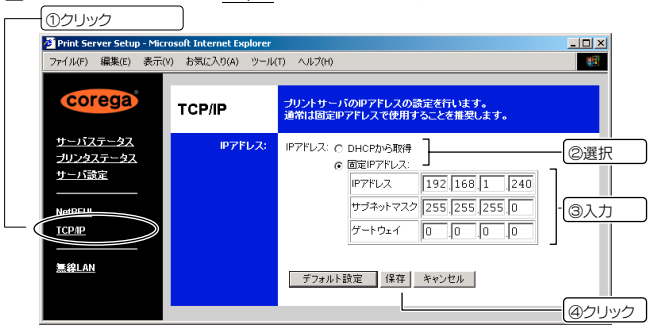
6 戻る をクリックしてください。

注意!!　一通りの設定が済むまでは、FPServerを再起動しないでください。

memo　NetBEUIのみで印刷する場合は、FPServerを再起動後、「NetBEUIを使用して印刷する」(☞ p.83)へ進んでください。

4-5 TCP/IP 設定

1 メニューフレームから TCP/IP をクリックしてください。



2 IPアドレスの設定方法を選択してください。

DHCPから取得: LAN内のDHCPサーバーからIPアドレスが自動的に取得されます。

memo DHCPサーバーによりFPServerのIPアドレスを割り当てる場合は、必ず毎回同じIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバーを設定してください。
割り当てられるIPアドレスが変わると、正常に印刷ができなくなる場合があります。

固定IPアドレス: 手動によりIPアドレスを設定できます。

memo こちらを選択した方が、設定や運用が簡単です。
通常はこちらを選択してください。

3 IP関連の情報を入力してください。

IPアドレス:　運用時に使用するIPアドレスを入力してください。

memo　工場出荷時設定：192.168.0.240

サブネットマスク:運用時に使用するサブネットマスクを入力してください。

memo　FPServerを利用するコンピューターに設定されているものと同じ値を入力してください。
コンピューターのサブネットマスクを参照する方法についての詳細は、「付録C コンピューターのネットワーク設定を参照する」(☞ p.98)を参考にしてください。

memo　工場出荷時設定：255.255.255.0

ゲートウェイ:　デフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。

memo　通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターのLAN側アドレスとなります。
同一LAN内のコンピューターからのみFPServerを使用する場合は、変更する必要はありません。

memo　工場出荷時設定：0.0.0.0

4 保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo　再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

5 戻る をクリックしてください。

注意!!　一通りの設定が済むまでは、FPServerを再起動しないでください。

4-6 再起動

再起動を行うことで、設定した値が動作に反映されます。

注意!! 再起動を行う前に、設定した値を確認してください。
設定内容にミスがあった場合、通信ができなくなる可能性があります。

memo 再起動後に通信ができなくなった場合は、工場出荷時の設定に戻し、設定をやり直してください。
「9-4 工場出荷時状態に戻す」(☞ p.93)

4

1 電源コネクターから電源プラグを抜き、10秒程度待ってから、再度電源プラグを挿入してください。

2 設定用コンピューターのネットワーク設定内容を、運用時のものに設定しなおしてください。

5 設定用コンピューターの準備(無線 LAN)

本章では設定用コンピューターがLANに対し無線で接続されている場合の、設定用コンピューターの準備について説明しています。

5-1 設定用コンピューターの構成

FPServerの設定を行うためには、次の条件を満たすコンピューターが必要です。

- IEEE802.1またはIEEE802.11bに準拠した無線LANカードが装備されている
- TCP/IPが組み込まれている
- Microsoft Internet Explorer 4.0またはNetscape Navigator 4.78以上がインストールされている

memo LANカードの取り付け方法や、設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書を参照してください。

memo Windows95/98/Meから印刷を行う場合には、LPR PLUSをインストールするためのCD-ROMドライブが必要です。

memo NetBEUIで印刷する場合であっても、本製品の設定を行うコンピューターには、TCP/IPが組み込まれている必要があります。

5-2 無線 LAN 設定

購入後、初めてFPServerの設定を行う際には、設定用コンピューターに以下の無線LAN設定を行っておく必要があります。

動作モード　：Ad-hocモード

チャンネル　：6

WEP(暗号化）：なし

FPServerの設定を変更した場合は、設定用コンピューターの設定もそれに合せてください。

memo 無線LANの設定方法についての詳細は、無線LANカードに付属の取扱説明書を参照してください。

memo 初めて設定を行う場合は、誤動作や他の機器への影響を避けるために、FPServerと設定用のコンピューター以外の、無線LAN機器等の電源をOFFにした状態で、設定作業を行うことをお勧めします。

5-3 TCP/IP 設定

FPServerの設定を行う場合は、設定用コンピューターに以下のTCP/IP設定を行っておく必要があります。

IPアドレス　　：192.168.0.1～192.168.0.254の範囲のIPアドレス
　　ただし、192.168.0.240を除く

サブネットマスク　：255.255.255.0

注意!! 初回設定時には、設定用のコンピューターにIPアドレスを手動で設定してください。
IPアドレスを自動的に取得する設定にしないでください。

注意!! 本書では設定用コンピューターの、運用時のIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。
・設定用コンピューターのIPアドレス値：192.168.0.3
・設定用コンピューターのサブネットマスク値：255.255.255.0
設定の際には、実際の値に読み替えてください。

memo TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、LANカードに付属の取扱説明書、または各OSの説明書を参照してください。

6 本製品の接続と起動(無線 LAN)

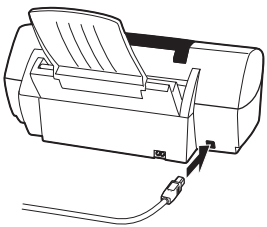
6-1 プリンターの接続

memo プリンターをFPServerに接続する前にコンピューターと直接接続し、正常に印刷ができることを確認してください。
プリンターの接続方法やドライバーのインストール方法については、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

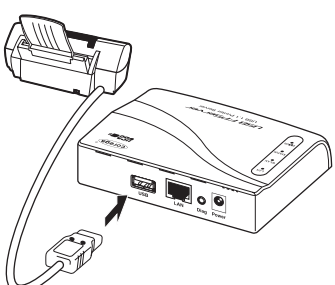
1 プリンター背面のUSBコネクターにUSBケーブルを接続してください。

注意!! コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

memo USBケーブルのコネクターは、プリンター側とFPServer側で形状が異なります。
コネクターの形状を確認して差し込んでください。



2 FPServer背面のUSBコネクターにUSBケーブルのもう一方のコネクターを接続してください。



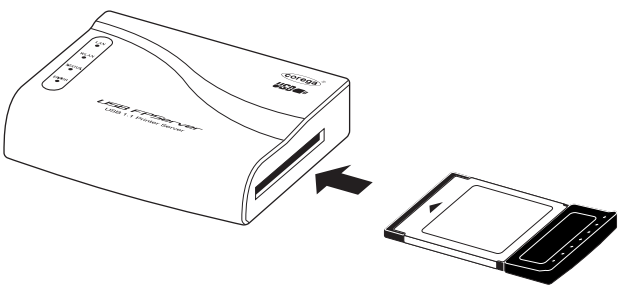
6-2 無線 LAN カードの接続

memo 有線LANにのみFPServerを接続する場合、本操作は不要です。
「3-2 有線LANの接続」(p.25)を参照してLANケーブルを接続してください。

1 無線LANカードをカードスロットに差し込んでください。

注意!! コネクターの向きをよく確かめて、しっかり差し込んでください。

注意!! 無線LANカードを装着する際は、必ず電源を切った状態で作業を行ってください。



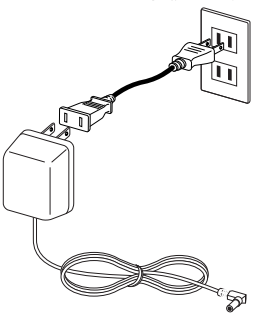
注意!! 無線LANで使用する場合は、他の無線LAN機器との間にできるだけ障害物がない場所に設置してください。

6-3 起動

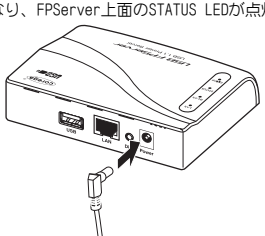
1 プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。

2 設定に使用するコンピューター、HUB、および無線LANアクセスポイント等の電源をONにし、それぞれの機器が完全に起動したことを確認してください。

3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。



4 FPServer背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続してください。
FPServerの電源がONになり、FPServer上面のSTATUS LEDが点灯します。



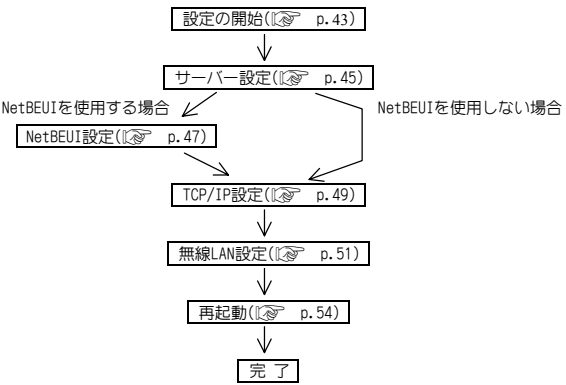
memo LEDの詳しい表示については「1-5 各部の名称と機能」(☞ p.15)を参照してください。

7 設定(無線 LAN)

FPServerには設定用のWebサーバーが内蔵されており、Webブラウザーから接続することで、FPServerの詳細な設定内容を変更することができます。

注意!! Webインターフェースを利用してFPServerの設定を行うためには、以下の条件を満たすWebブラウザーが必要です。
・Internet Explorer 4.0またはNetscape Navigator 4.78以上

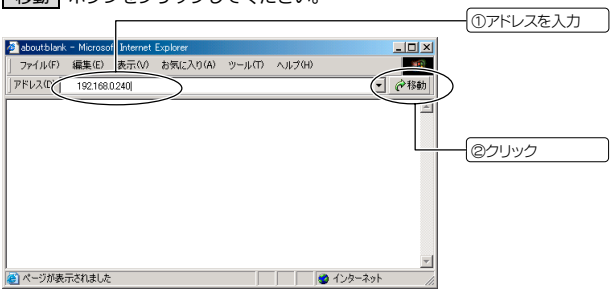
7-1 設定の流れ



7-2 設定の開始

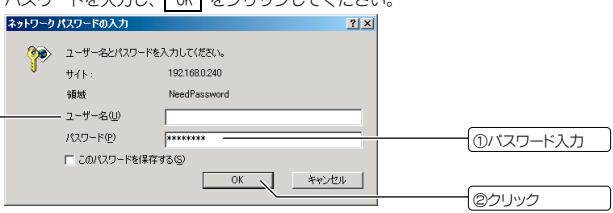
1 Webブラウザーを起動し、アドレス欄にFPServerのIPアドレスを入力してください。

2 移動 ボタンをクリックしてください。



memo 購入後初めてFPServerを設定する場合や初期化を行った場合、FPServerのIPアドレスは、192.168.0.240になっています。

3 本製品にパスワードを設定している場合は、次のウィンドウが表示されます。パスワードを入力し、 OK をクリックしてください。



memo パスワードを設定していない場合には、本ウィンドウは表示されません。

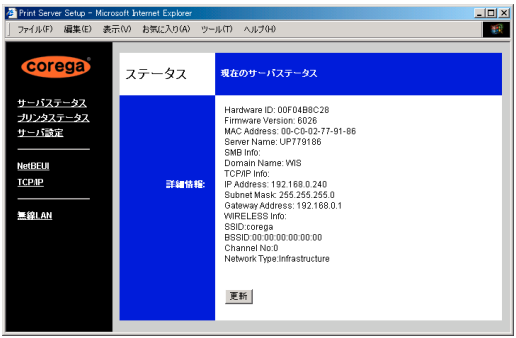
memo 「ユーザー名」には、特に何も入力する必要はありません。

4 設定用のページが表示されます。

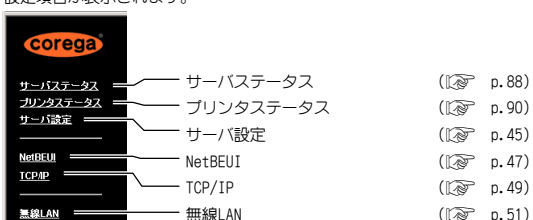
次のページ以降の説明を参照して、設定を行ってください。

注意!! WWWブラウザーにオフラインや、プロキシサーバーの設定がされている場合には、本装置の設定用ページを表示できないことがあります。
そのような場合には、これらの設定を解除してください。(☞ p. 100)

memo 設定ページは、左側のメニューフレームと右側の設定フレームからなります。

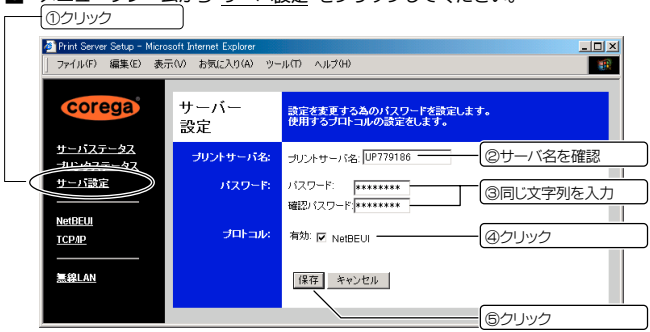


memo メニューフレームの各項目をクリックすることで、設定フレームに対応する設定項目が表示されます。



7-3 サーバー設定

1 メニューフレームから サーバ設定 をクリックしてください。



2 プリントサーバ名を確認してください。

コンピューターからは、ここに入力した名称のプリントサーバーが認識されます。
また、必要に応じて任意の名称に変更することができます。

memo 通常は変更する必要はありません。

memo 同一ネットワーク上の他の機器と同じ名前を使用することはできません。

memo 工場出荷時設定では、UPにMACアドレスの下6桁をあわせた名称になっています。

3 パスワードを入力してください。

「パスワード」および「確認パスワード」欄にパスワードとして用いる文字列を入力してください。

memo パスワードとして用いることのできる文字列は、次の通りです。
- 半角アルファベット(A～Z、a～z)
- 半角数字(0～9)
- 全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2バイト文字)は、使用できません。
入力できる文字数は、最大19文字です。

memo 工場出荷時設定では、パスワードが設定されていません。

memo　入力したパスワードは、セキュリティーの観点より"*"（アスタリスク）で表示されます。
また、セキュリティーの観点から、パスワードを設定することをお勧めします。

4 NetBEUIプロトコルを使用してプリンター共有を行いたい場合は、NetBEUIにチェックを入れてください。

memo　コンピューター側にもNetBEUIプロトコルを組み込む必要があります。
NetBEUIの組込方法につきましては、別途参考書等をご覧ください。

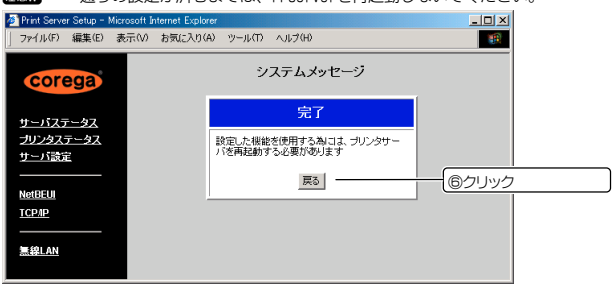
5 設定内容を確認し、保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo　再起動後、新しい設定内容が動作に反映されます。

6 戻る をクリックしてください。

注意!!　一通りの設定が済むまでは、FPServerを再起動しないでください。

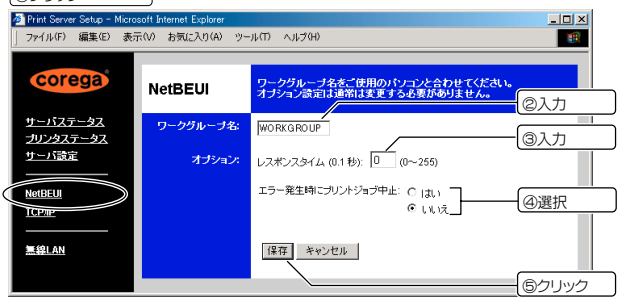


7-4 NetBEUI 設定

サーバー設定において、NetBEUIを選択した場合のみ本設定が必要です。
NetBEUIを選択していない場合は、本設定を行わず「7-5 TCP/IP設定」(☞ p.49)に進んでください。

memo 本章のオプション設定項目については、通常変更する必要はありません。

1 メニューフレームから NetBEUI をクリックしてください。



2 ワークグループまたはドメイン名を入力してください。

コンピューターに設定されているものと同じワークグループ名を入力する必要があります。

memo ワークグループ名として用いることのできる文字列は、次のとおりです。
- 半角アルファベット(A~Z)
- 半角数字(0~9)
- 全ての半角記号(!@#$%^^&....)

memo 全角文字(2バイト文字)、および、小文字の英文字は使用できません。
入力できる文字数は、最大19文字です。

3 レスポンスタイムを入力してください。

プリンターのデーター受信性能が、FPServerのデーター送信性能を下回っている場合、プリンターが正しく印刷データーを受け取ることができず、印刷が正常に行えないことがあります。
そのような場合には、レスポンスタイムを増やしてください。

memo デフォルトでは、"0"に設定されています。

memo 通常は、変更する必要はありません。

4 エラー発生時に印刷を中止するかどうかを選択してください。

はい　　エラー発生時に、エラーの発生した印刷がキャンセルされます。

いいえ　エラーが発生しても、印刷を継続します。

memo　デフォルトでは、"いいえ"に設定されています。

memo　通常は、変更する必要はありません。

5 保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo　再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

6 戻る をクリックしてください。

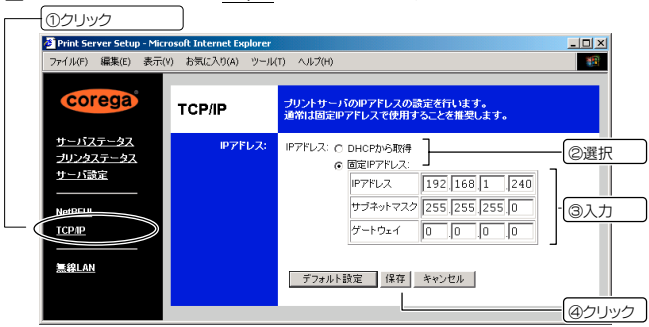
注意!!　一通りの設定が済むまでは、FPServerを再起動しないでください。

memo　NetBEUIのみで印刷する場合は、FPServerを再起動後、「NetBEUIを使用して印刷する」(☞ p.83)へ進んでください。

7

7-5 TCP/IP 設定

1 メニューフレームから TCP/IP をクリックしてください。



2 IPアドレスの設定方法を選択してください。

DHCPから取得: LAN内のDHCPサーバーからIPアドレスが自動的に取得されます。

memo DHCPサーバーによりFPServerのIPアドレスを割り当てる場合は、必ず毎回同じIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバーを設定してください。
割り当てられるIPアドレスが変わると、正常に印刷ができなくなる場合があります。

固定IPアドレス: 手動によりIPアドレスを設定できます。

memo こちらを選択した方が、設定や運用が簡単です。
通常はこちらを選択してください。

3 IP関連の情報を入力してください。

IPアドレス:　運用時に使用するIPアドレスを入力してください。

memo　工場出荷時設定：192.168.0.240

サブネットマスク:運用時に使用するサブネットマスクを入力してください。

memo　FPServerを利用するコンピューターに設定されているものと同じ値を入力してください。
コンピューターのサブネットマスクを参照する方法についての詳細は、「付録C コンピューターのネットワーク設定を参照する」(☞ p.98)を参考にしてください。

memo　工場出荷時設定：255.255.255.0

ゲートウェイ:　デフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。

memo　通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターのLAN側アドレスとなります。
同一LAN内のコンピューターからのみFPServerを使用する場合は、変更する必要はありません。

memo　工場出荷時設定：0.0.0.0

4 保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo　再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

5 戻る をクリックしてください。

注意!!　一通りの設定が済むまでは、FPServerを再起動しないでください。

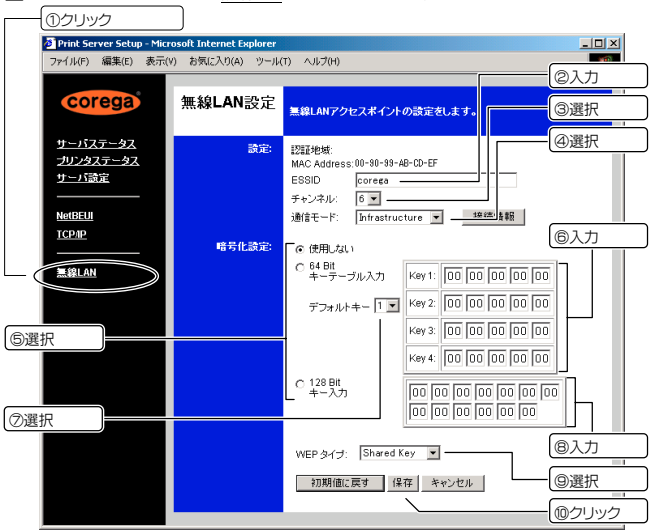
7-6 無線 LAN 設定

無線LANで使用する場合にのみ、本設定を行ってください。

注意!! 本章の設定を行うためには、本装置に無線LANカードが装備されている必要があります。

memo 無線カードを搭載したコンピュータより本製品を経由して印刷する場合は、本製品と同じ無線設定を行ってください。

1 メニューフレームから 無線LAN をクリックしてください。



2 ESSIDを入力してください。

ESSIDとは、無線LAN を構成するコンピューターをグルーピングするための名前です。
接続したいアクセスポイントに設定されているESSIDと同じ文字列を入力してください。

memo 工場出荷時設定：corega

memo ESSIDとして用いることのできる文字列は、次の通りです。
- 半角アルファベット(A～Z、a～z)
- 半角数字(0～9)
- すべての半角記号(!@#$%^^&....)

全角文字(2バイト文字)は、使用できません。
入力できる文字数は、最大19文字です。

memo Ad-hoc(Ad-hoc/802.11 Ad-hoc)モード時は、ESSIDが無効となります。

3 チャンネルを選択してください。

他の無線LAN端末(ステーション)と同じチャンネルを選択してください。

memo 工場出荷時設定：6

memo チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。

memo Infrastructureモード時はチャンネルが無効となり、アクセスポイントに設定されているチャンネルが自動的に選択されます。

4 通信モードを選択してください。

Infrastructure	無線LANと有線LANが混在するネットワークで運用する場合に選択してください。
802.11 Ad-hoc	無線LAN機器のみで構築されたネットワークで運用する場合に選択してください。
Ad-hoc	無線LAN機器のみで構築されたネットワークで運用する場合に選択してください。 802.11 Ad-hocで通信できない場合に選択してください。

memo 工場出荷時設定：Ad-hoc

memo Ad-hocとInfrastructureについての詳細は、「1-7 無線LANについて」(☞ p.22)を参照してください。

memo 有線LANと無線LANの双方に接続する場合は、Ad-hoc/802.11 Ad-hocモードを選択してください。

memo Infrastructureモード時は、本製品のLANポート(RJ-45コネクタ)を使用することはできません。

5 暗号化設定を選択してください。

使用しない	暗号化を使用しない
64Bit	64Bit暗号化を使用する
128Bit	128Bit暗号化を使用する

memo 初めての設定の際には、「使用しない」に設定することをお勧めします。設定が完了し、FPServerの動作が確認できた後、実際の運用環境に合せて設定してください。

6 64Bit暗号キーを入力してください。

無線通信のデータを暗号化するための暗号キーです。

memo **5**で「64Bit」を選択した場合に有効となります。

memo 暗号キーは、2桁ずつに区切られた10桁の16進数で入力してください。

7 デフォルトキーを選択してください。

6で入力した4つのKeyのうち、どの暗号キーを使うかをここで選択できます。

memo **5**で「64Bit」を選択した場合に有効となります。

memo 暗号キーは、2桁ずつに区切られた10桁の16進数で入力してください。

8 128Bit暗号キーを入力してください。

無線通信のデータを暗号化するための暗号キーです。

memo **5**で「128Bit」を選択した場合に有効となります。

memo 暗号キーは、2桁ずつに区切られた26桁の16進数で入力してください。

9 Wepタイプを選択してください。

Shared Key	アクセスポイントに対する認証と通信の試みを許可する方式です。一般的な無線LAN機器が採用しています。
Open System	Wepキーが一致する場合にのみ、アクセスポイントに対する認証と通信の、試みを許可する方式です。Shared Keyに比べセキュリティーレベルが高くなります。通信相手の機器がOpen Systemに対応している必要があります。

10 保存 をクリックしてください。

設定した内容がFPServerに保存され、FPServerの再起動を促すメッセージが表示されます。

memo 再起動後に、新しい設定内容が動作に反映されます。

7-7 再起動

再起動を行うことで、設定した値が動作に反映されます。

注意!! 再起動を行う前に、設定した値を確認してください。
設定内容にミスがあった場合、通信ができなくなる可能性があります。

memo 再起動後に通信ができなくなった場合は、工場出荷時の設定に戻し、設定をやり直してください。
「9-4 工場出荷時状態に戻す」(☞ p.93)

1 電源コネクターから電源プラグを抜き、10秒程度待ってから、再度電源プラグを挿入してください。

2 設定用コンピューターのネットワーク設定内容を、運用時のものに設定しなおしてください。

8 コンピューターからの印刷

8-1 印刷環境について

印刷環境

・プロトコル

FPServerに接続したプリンターに対して印刷を行う場合、FPServerとコンピューターがTCP/IPで通信できる必要があります。
詳細については、「4-5 TCP/IP設定(☞ p.34)(☞ p.49)」を参照してください。

memo 印刷に関しては、TCP/IP以外にNetBEUIもサポートしています。

・OS

FPServerは、TCP/IP上で動作するネットワーク印刷プロトコルであるLPRに対応しています。
したがって多くのOSから印刷が可能です。
本書では、特にWindows系のOSから印刷を行う際の設定について説明します。
尚、Windowsのバージョンによって設定内容が異なります。
Windows95/98/Meから印刷を行う場合は、ユーティリティーCD-ROMに格納されているLPR PLUSを使用してください。
WindowsNT4.0/2000/XPから印刷する場合は、OSに標準で搭載されているLPRドライバーを使用してください。

・プリンター

事前にコンピューターにプリンターを接続し、正常に印刷ができることを確認してください。

memo プリンターの接続、およびプリンタードライバーのインストールについての詳細は、プリンター付属の取扱説明書を参照してください。

8-2 TCP/IP で Windows95/98/Me から印刷する

Windows95/98/MeからFPServerを通じて印刷をするためには、LPR PLUSをインストールし、ポートの設定を行う必要があります。

注意!! LPR PLUSをインストールするためには、TCP/IPが組み込まれていなければなりません。
必ずWindowsにTCP/IPが組み込まれた状態で、LPR PLUSをインストールしてください。

注意!! LPR PLUSをインストールする前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認してください。

注意!! LPR PLUS以外のLPRソフトに関するサポートは行っていません。

memo プリンターがコンピューターに直接接続されている場合
①プリンターとFPServerの電源を一度OFFにしてください。
②プリンターをFPServerに繋ぎ替えてください。
③プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④FPServerの電源をONにしてください。

memo NetBEUIプロトコルを利用して印刷を行う場合は、「NetBEUIを使用して印刷する」(☞ p.83)を参照してください。

8

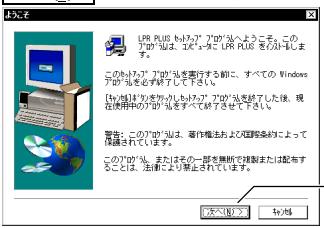
LPR PLUS のインストール

1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択してください。
ファイル名を指定して実行ウィンドウが表示されます。

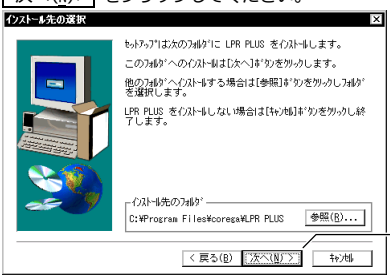
2 名前(O)の欄にCD-ROMドライブ名に続けて"¥SETUP.EXE"と入力し OK をクリックしてください。

memo CD-ROMドライブのドライブ名が"D:"であった場合、ファイル名を指定して実行ウィンドウには、"D:¥SETUP.EXE"と入力してください。

3 次へ(N)> をクリックしてください。



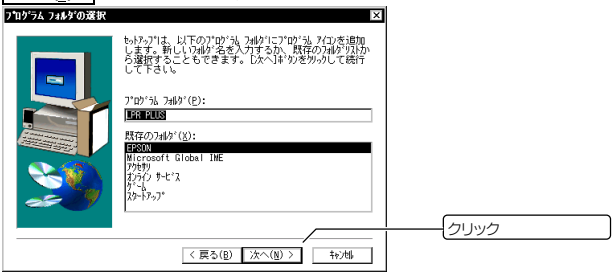
4 次へ(N)> をクリックしてください。



memo インストールするフォルダを変更したい場合は、参照(R)... をクリックし、インストール先のフォルダを選択してください。
通常は、変更する必要はありません。

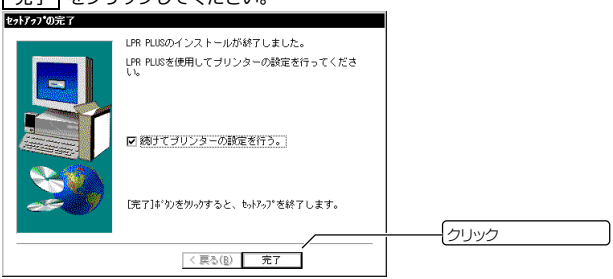
8

5 次へ(N)> をクリックしてください。



以上でソフトウェア自体のインストールは完了です。

6 完了 をクリックしてください。



memo プリンターのドライバをインストールしていない場合は「続けてプリンターの設定を行う。」のチェックを外し、完了 をクリックしてください。
その後プリンタードライバーをインストールし、「プリンターポートの設定」(☞ p.59)を行ってください。

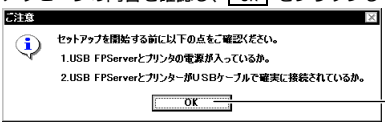
8

プリンターポートの設定

LPR PLUSのインストールに続いて、プリンターのポート設定ツールが起動されます。

memo 本操作は、プリンタードライバーが組み込まれていることを前提にしています。プリンタードライバーが組み込まれていない場合は、一旦ツールを終了し、プリンタードライバーを組み込んだ後に、[スタート]-[プログラム(P)]-[LPR PLUS]-[LPR Plus]を選択し、ポート設定ツールを起動してください。

1 メッセージの内容を確認し、OK をクリックしてください。



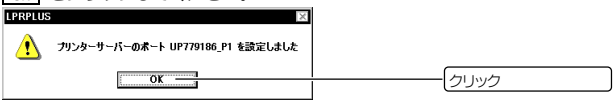
自動的にFPServerがリストアップされます。

2 プリンターポートを選択し、次へ をクリックしてください。

8

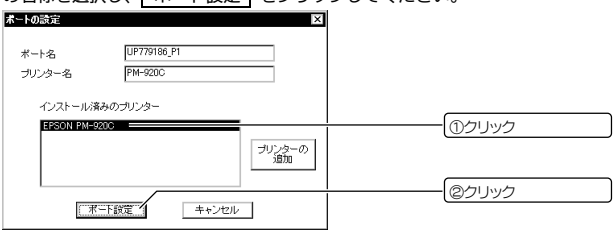
プリンターサーバーのプリンターポートをコンピューターから利用可能になった旨のメッセージが表示されます。

3 OK をクリックしてください。



インストール済みのプリンター一覧が表示されます。

4 インストール済みのプリンター欄から、FPServerに接続されているプリンターの名称を選択し、ポート設定 をクリックしてください。



memo この時点で プリンターの追加 をクリックすることにより、プリンタードライバーをインストールすることもできますが、プリンターメーカーが独自に提供しているユーティリティー等がインストールされないことがあります。したがって、LPR PLUSのインストールを行う前に、プリンタードライバーのインストールを完了してください。

memo プリンタードライバーのインストール方法についての詳細は、プリンターに付属の取扱説明書などを参照してください。

FPServerのプリンターポートアイコンに“*”マークが付きます。

5 閉じる をクリックしてください。

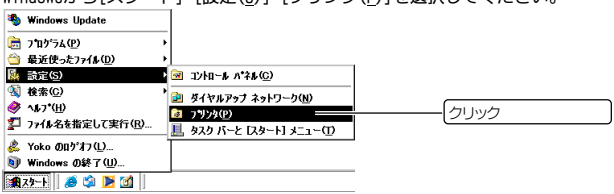
LPR PLUSの設定が完了します。

設定の確認

LPR PLUSのインストールとポート設定が完了したら、次に作成したポート経由で、印刷が行われることを確認してください。

memo　FPServerの設定は、事前に完了させておいてください。

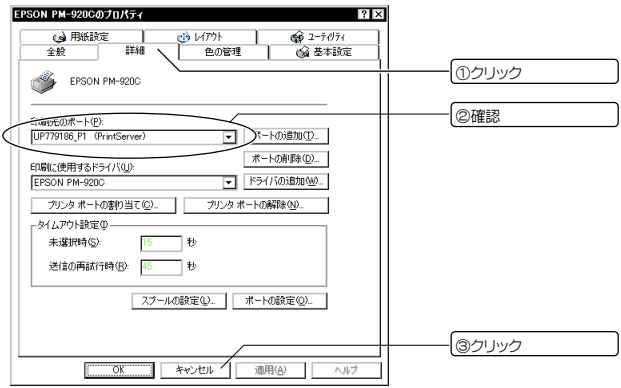
1 Windowsから[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



2 FPServer経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ（R） を選択してください。

8

3 詳細 タブをクリックし、印刷先のポート(P) にFPServerの名称が表示されていることを確認してください。



4 キャンセル をクリックし、プロパティウィンドウを閉じてください。

8

8-3 TCP/IP で Windows2000 から印刷する

Windows2000からFPServerを通じて印刷を行うためには、Windows2000に標準添付されているStandard TCP/IP Portの設定を行う必要があります。

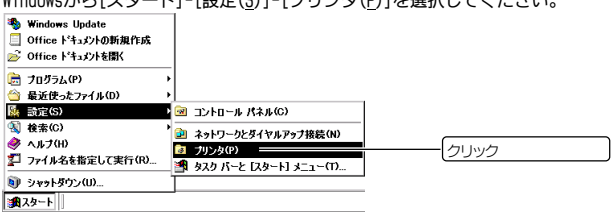
注意!! Standard TCP/IP Portを使用するためには、TCP/IPが組み込まれていなければなりません。
必ずWindowsにTCP/IPが組み込まれた状態で、Standard TCP/IP Portの設定を行ってください。

注意!! Standard TCP/IP Portを設定する前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。

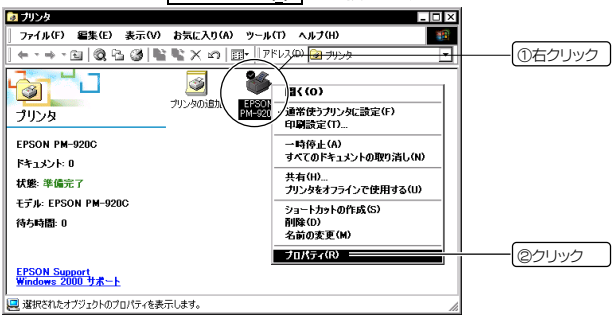
memo プリンターがコンピューターに直接接続されている場合
①プリンターとFPServerの電源を一度OFFにしてください。
②プリンターをFPServerに繋ぎ替えてください。
③プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④FPServerの電源をONにしてください。

Standard TCP/IP Port の設定

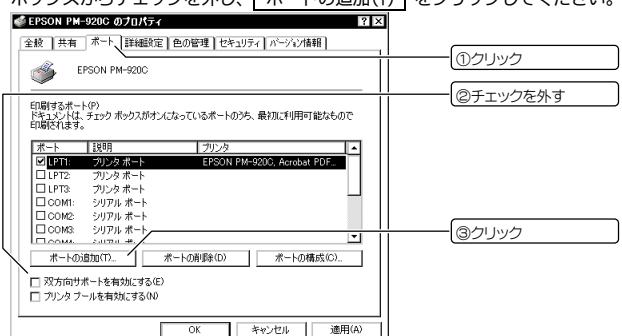
1 Windowsから[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。



2 FPServer経由で印刷したいプリンターの、アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ(R) を選択してください。



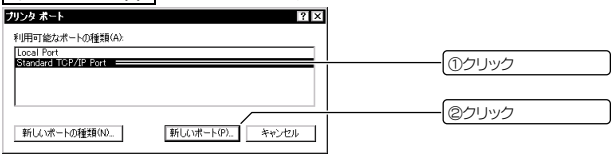
3 ポート タブをクリックし、双方向サポートを有効にする(E)のチェックボックスからチェックを外し、ポートの追加(T) をクリックしてください。



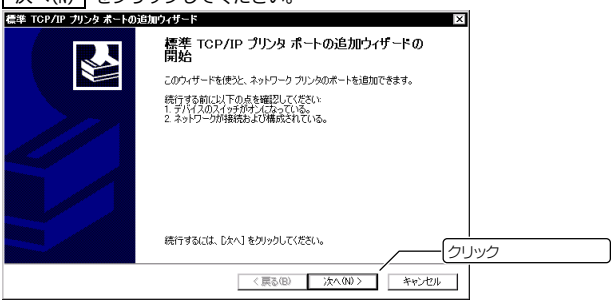
注意!! 本製品は、プリンターの双方向通信機能に対応していません。

8

4 利用可能なポートの種類(A) リストからStandard TCP/IP Portを選択し、
新しいポート(P) をクリックしてください。

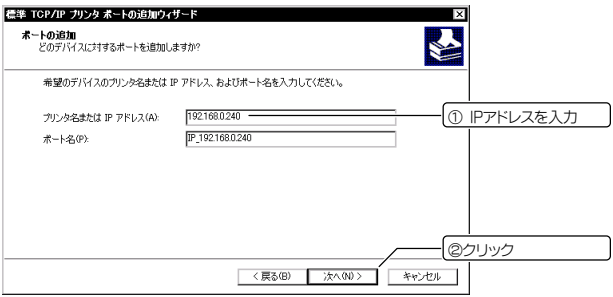


5 次へ(N) をクリックしてください。



8

6 FPServerに設定したIPアドレスを入力し、次へ(N) をクリックしてください。

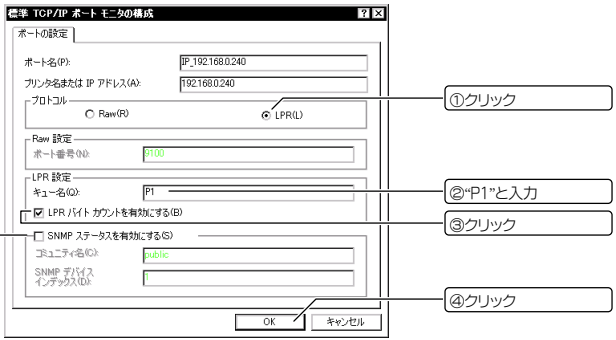


memo ポート名は自動的に生成されますが、任意のポート名に変更することもできます。

memo 既に存在するポート名は指定できません。
また、ポート名には、以下の文字は指定できません。
" "(スペース)、"/"、"¥"、"&"、":"、"="

7 カスタム(C) を選択し、設定(E) をクリックしてください。

8 ポートの設定を行ってください。



①プロトコルにLPR(L)を選択してください。

注意!! Raw(R)を選択すると正常に出力されません。

②キュー名に"P1"と入力してください。

③LPRバイトカウントを有効にする(R)に、チェックを入れてください。

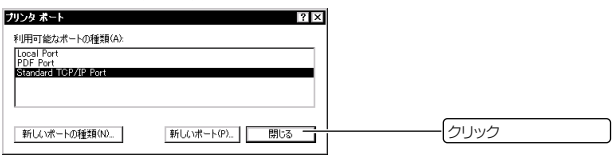
④ OK をクリックしてください。

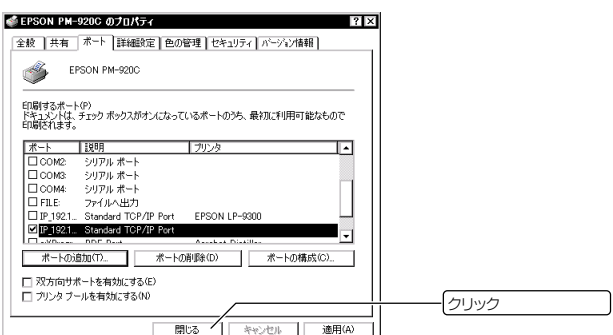
注意!! FPServerは、SNMPステータスに対応していません。
SNMPステータスを有効にする(S)にチェックを入れないでください。

9 次へ(N)> をクリックしてください。

10 ウィンドウを順に閉じてください。

memo 設定内容を修正したい場合は、< 戻る(B) をクリックして設定ダイアログを表示し、修正を行ってください。





8-4 TCP/IP で WindowsXP から印刷する

WindowsXPからFPServerを通じて印刷をするためには、WindowsXPに標準添付されている Standard TCP/IP Portの設定を行う必要があります。

注意!! Standard TCP/IP Portを使用するためには、TCP/IPが組み込まれていなければなりません。
必ずWindowsにTCP/IPが組み込まれた状態で、Standard TCP/IP Portの設定を行ってください。

注意!! Standard TCP/IP Portを設定する前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。

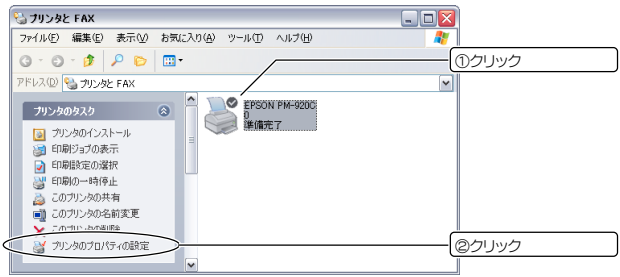
memo プリンターがコンピューターに直接接続されている場合

①プリンターとFPServerの電源を一度OFFにしてください。
②プリンターをFPServerに繋ぎ替えてくだい。
③プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④FPServerの電源をONにしてください。

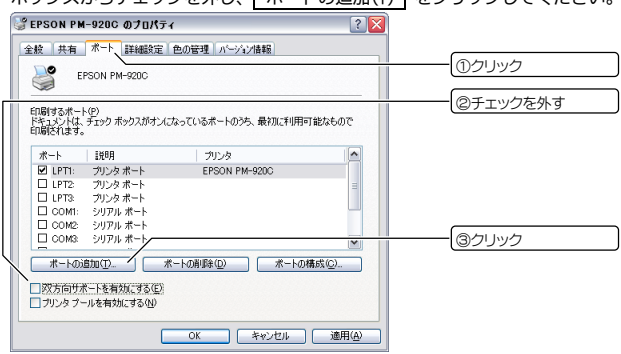
Standard TCP/IP Port の設定

1 Windowsから[スタート]-[設定(S)]-[プリンタとFAX]を選択してください。

2 PS-11経由で印刷したいプリンターをクリックして選択した後、「プリンタのタスク」リストから、「プリンタのプロパティの設定」をクリックしてください。

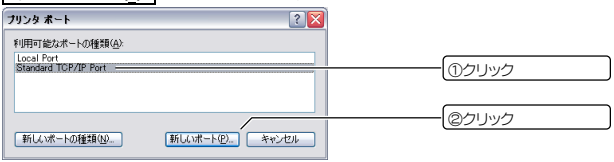


3 ポート タブをクリックし、双方向サポートを有効にする(E)のチェックボックスからチェックを外し、ポートの追加(T) をクリックしてください。

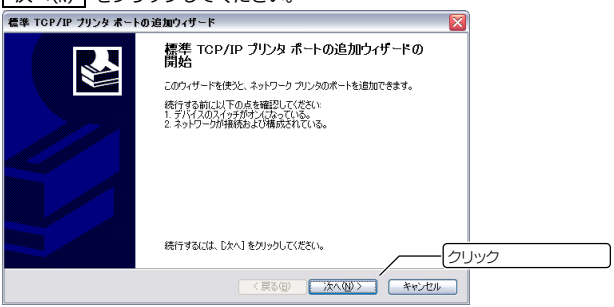


注意!! 本製品は、プリンターの双方向通信機能に対応していません。

4 利用可能なポートの種類(A) リストからStandard TCP/IP Portを選択し、
新しいポート(P) をクリックしてください。

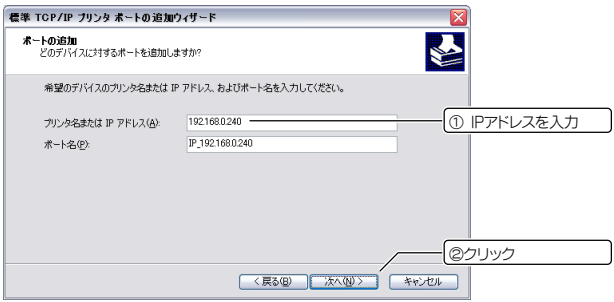


5 次へ(N) をクリックしてください。



8

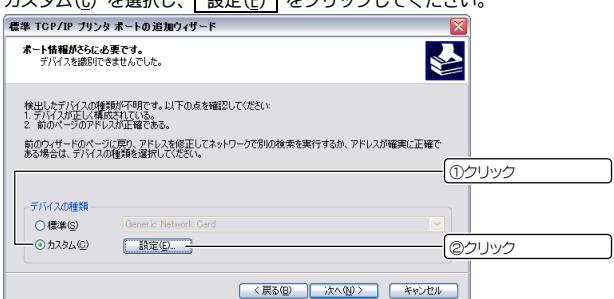
6 FPServerに設定したIPアドレスを入力し、 次へ(N) をクリックしてください。



memo ポート名は自動的に生成されますが、任意のポート名に変更することができます。

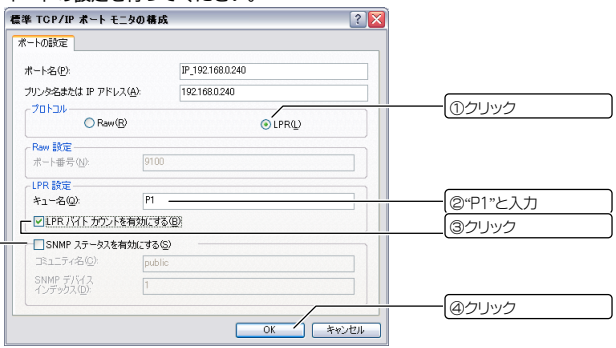
memo 既に存在するポート名は指定できません。
また、ポート名には、以下の文字は指定できません。
" "(スペース)、"/"、"¥"、"&"、":"、"="

7 カスタム(C) を選択し、 設定(E) をクリックしてください。



8

8 ポートの設定を行ってください。



①プロトコルにLPR(L)を選択してください。

注意!! Raw(R)を選択すると正常に出力されません。

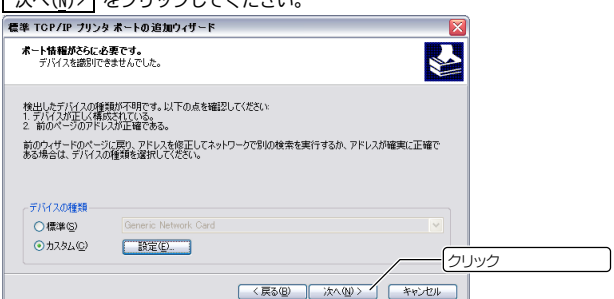
②キュー名に"P1"と入力してください。

③LPRバイトカウントを有効にする(R)に、チェックを入れてください。

④ OK をクリックしてください。

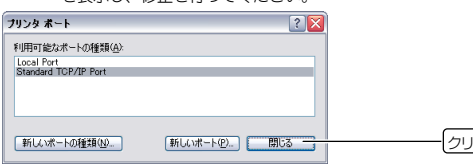
注意!! FPServerは、SNMPステータスに対応していません。
SNMPステータスを有効にする(S)にチェックを入れないでください。

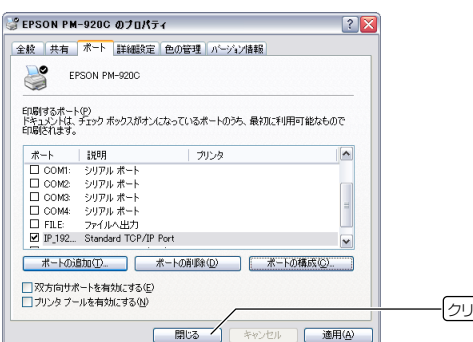
9 次へ(N)> をクリックしてください。



10 ウィンドウを順に閉じてください。

memo 設定内容を修正したい場合は、< 戻る(B) をクリックして設定ダイアログを表示し、修正を行ってください。





8

8-5 TCP/IP でWindowsNT4.0から印刷する

WindowsNT4.0からFPServerを通じて印刷をするためには、WindowsNT4.0に標準添付されているMicrosoft TCP/IP 印刷の設定を行う必要があります。

注意!! Microsoft TCP/IP 印刷を使用するためには、TCP/IPが組み込まれていなければなりません。
必ずWindowsにTCP/IPが組み込まれた状態で、Microsoft TCP/IP 印刷をインストールしてください。

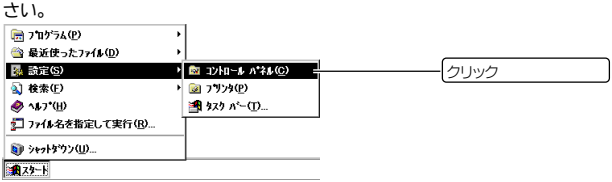
注意!! Microsoft TCP/IP 印刷をインストールする前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。

memo プリンターがコンピューターに直接接続されている場合

①プリンターとFPServerの電源を一度OFFにしてください。
②プリンターをFPServerに繋ぎ替えてくだい。
③プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④FPServerの電源をONにしてください。

Microsoft TCP/IP 印刷のインストール

1 Windowsから[スタート]-[設定(S)]-[コントロールパネル(P)]を選択してください。

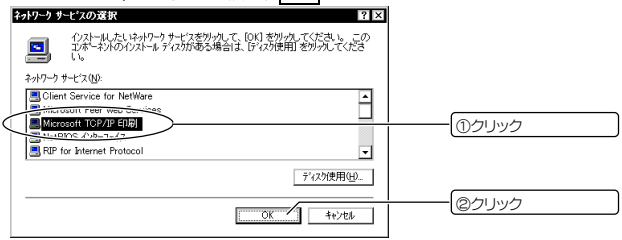


2 ネットワークアイコンをダブルクリックしてください。

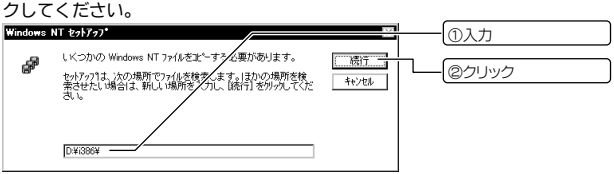
3 追加(A) をクリックしてください。

8

4 Microsoft TCP/IP印刷 を選択し、OK をクリックしてください。



5 Windows NT 4.0のインストール用ファイルの場所を入力し、続行 をクリックしてください。

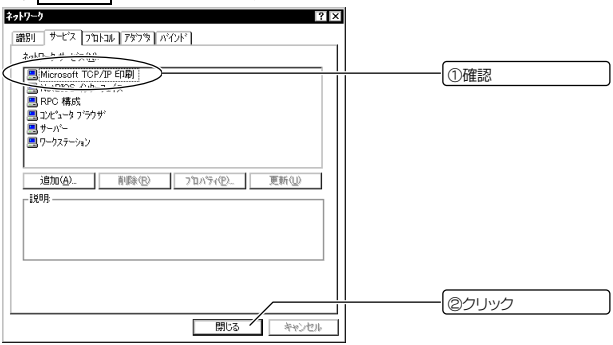


memo Windows NT 4.0のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
通常プリインストールモデルでは、この操作は必要ありませんが、Windows NT 4.0をユーザー側でインストールしていた場合には必要となる操作です。

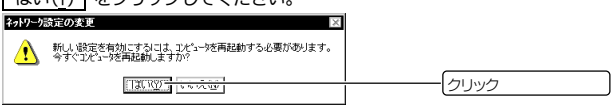
memo Windows NT 4.0をインストールした後に、ハードディスク等を増設していた場合、誤った場所が表示されていることがあります。
実際の環境に合せて、場所の名前を書き替えてください。

8

6 Microsoft TCP/IP印刷がネットワークサービスの一覧に追加されたことを確認し、 閉じる をクリックしてください。



7 はい(Y) をクリックしてください。



Microsoft TCP/IP 印刷のインストールが完了し、コンピューターが再起動されます。

8

プリンターの設定

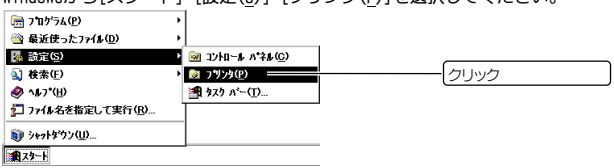
Microsoft TCP/IP 印刷によって作成されたポート経由で印刷を行うために、Windowsのプリンター設定を行う必要があります。

memo　プリンターがコンピューターに直接接続されている場合

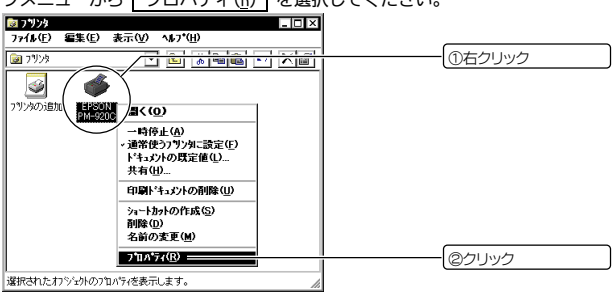
①プリンターとFPServerの電源を一度OFFにしてください。
②プリンターをFPServerに繋ぎ替えてください。
③プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④FPServerの電源をONにしてください。

memo　FPServerの設定は、事前に完了させておいてください。

1 Windowsから[スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]を選択してください。

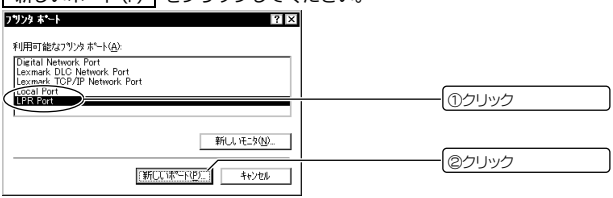


2 FPServer経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ(R) を選択してください。

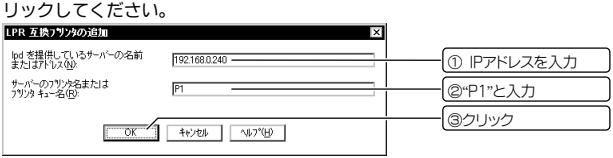


3 ポート タブをクリックし、ポートの追加(T) をクリックしてください。

4 利用可能なプリンタポート(A) リストからLPR Portを選択し、新しいポート(P) をクリックしてください。



5 FPServerに設定したIPアドレスとプリンターのキュー名を入力し、OK をクリックしてください。



8

6 閉じる をクリックしてください。

7 OK をクリックしてください。

memo 「双方向サポートを有効にする(E)」にチェックが付いている場合は、チェックを外してください。

注意!! FPServerは、双方向通信に対応していません。

注意!! コンピューターとプリンターを直接接続した状態で、双方向通信のチェックを外さなければ、双方向通信機能がOFFにならない場合があります。

8-6 NetBEUI を使用して印刷する

NetBEUIで印刷を行いたい場合には、次の手順で設定を行ってください。

①FPServerにNetBEUIの設定を行う(☞ p.32)(☞ p.47)

②コンピューターにプリンターの設定を行う

本項では、プリンターの設定手順について説明します。

注意!! FPServerを設定するには、WindowsおよびTCP/IPが組み込まれたコンピューターが必要です。
NetBEUIのみ組み込まれたコンピューターからは、FPServerの設定を行うことはできません。

注意!! 本章の操作を行う前に、プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認しておいてください。
尚、プリンタードライバーの詳細については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

memo プリンターがコンピューターに直接接続されている場合
①プリンターとFPServerの電源を一度OFFにしてください。
②プリンターをFPServerに繋ぎ替えてください。
③プリンターの電源をONにし、プリンターが完全に起動したことを確認してください。
④FPServerの電源をONにしてください。

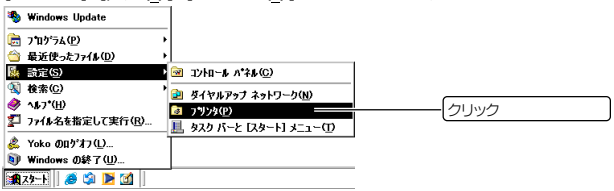
memo FPServer側の設定については、「4-4 NetBEUI設定」(☞ p.32)(☞ p.47)を参照してください。

memo NetBEUIの組み込み方法については、Windowsに付属の取扱説明書、およびHELPを参照してください。
本書ではNetBEUIが組み込まれているものとして説明しています。

memo 基本的には、TCP/IPでご使用になることをお勧めします。

ここでは、WindowsMeを例に、プリンターの設定方法を説明します。
他のOSをお使いの方も、ほぼ同等の操作で設定が可能です。

1 [スタート]-[設定(S)]-[プリンタ(P)]をクリックしてください。

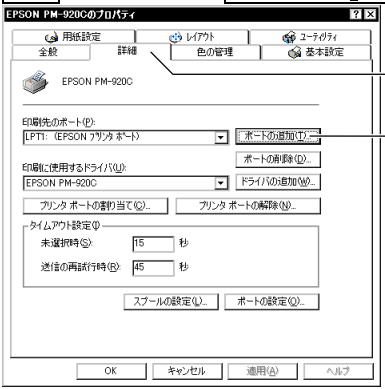


2 FPServer経由で印刷したいプリンターのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから プロパティ（R） を選択してください。

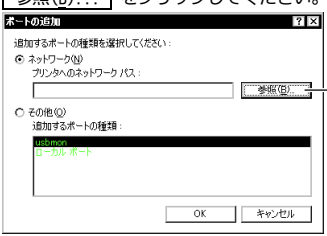
注意!! プリンターのアイコンが存在しない場合は、プリンタードライバーが組み込まれていません。
プリンタードライバーを組み込み、プリンターの動作を確認した後に、本章の操作を行ってください。

8

3 詳細 タブをクリックし、ポートの追加(T)... をクリックしてください。



4 参照(B)... をクリックしてください。

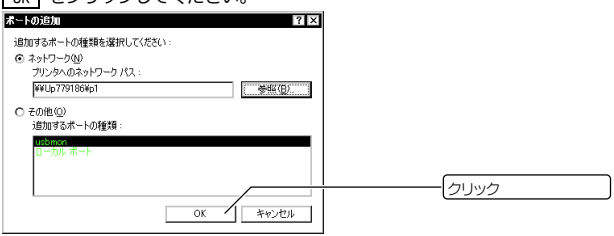


8

5 FPServerのプリンターポートを選択し、OK をクリックしてください。

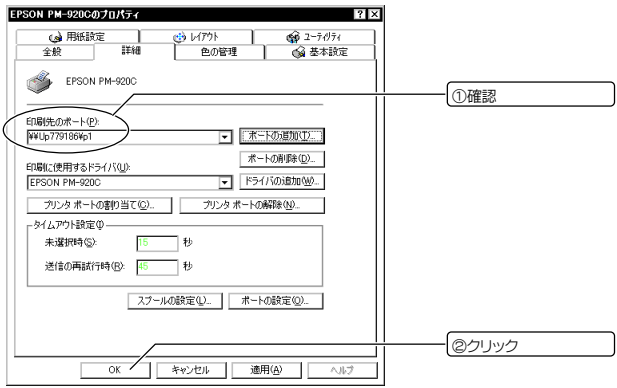
memo FPServerの名称は、"UP"に続けて6桁の数字(MACアドレスの下6桁)が連なった名称となっています。
また、プリンターポート名は、"P1"となっています。

6 OK をクリックしてください。



8

7 印刷先のポートがFPServerに設定されていることを確認し、OK をクリックしてください。



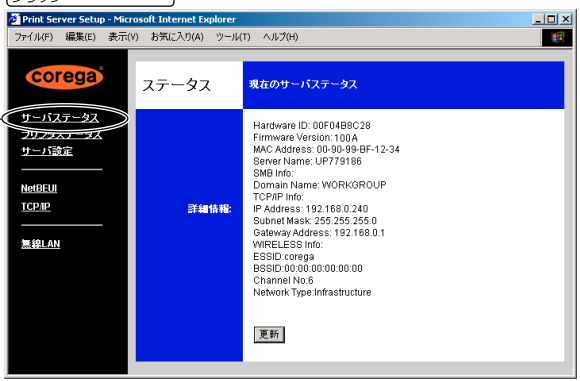
プリンターポートにFPServerのポートが設定されます。

8

9-1 サーバステータスの参照

FPServerに設定されている各種情報を一覧で参照できます。

1 メニューフレームから サーバステータス をクリックしてください。



主な項目について説明します。

Hardware ID: 各FPServerに付けられた固有のIDです。
障害時の問い合わせに必要となる場合があります。

Firmware Version: FPServer上で動作しているソフトウェアのバージョン情報です。
障害時の問い合わせに必要となる場合があります。

MAC Address: FPServerの有線LANポートに付けられたアドレスです。
有線LANでの通信に使用されます。

Server Name: このFPServerに付けられた固有の名前です。
工場出荷時設定では、UPの文字に続けて、MACアドレスの下6桁が付けられています。

Domain Name: NetBEUIプロトコルによりプリンターを共有する際に、必要となるドメイン名(ワークグループ名)です。

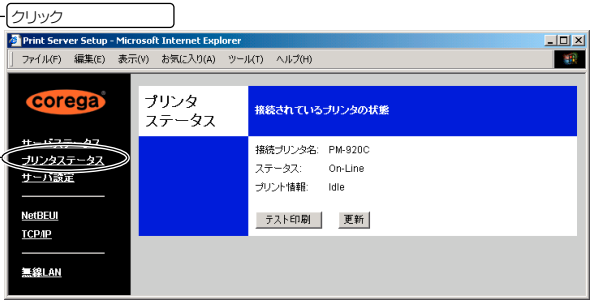
memo 工場出荷時設定では、何も設定されていません。

IP Address:	本製品に付けられたIPアドレスです。 工場出荷時設定：192.168.0.240
Subnet Mask:	本製品に付けられたサブネットマスクです。 工場出荷時設定：255.255.255.0
Gateway Address:	他のネットワークと通信する際に必要となるゲートウェイアドレスです。 一般的には、ルーターのIPアドレスになります。 工場出荷時設定：0.0.0.0
ESSID:	無線LAN機器をグルーピングするためのIDです。 工場出荷時設定：corega
BSSID:	Infrastructureモードで無線LAN機能を使用している場合に、無線LAN機器をグルーピングするためのIDです。 無線LANアクセスポイントのMACアドレスが使用されます。
Channel No:	Adhocモードで無線LAN機能を使用している際に使用されるチャンネル番号です。
Network Type:	無線LANの動作モードです。 工場出荷時設定：Ad-hoc

9-2 プリンタステータス

FPServerに接続されているプリンターの状態を参照できます。

1 メニューフレームから プリンタステータス をクリックしてください。



各項目について説明します。

接続プリンタ名: FPServerに接続されているプリンターの名称が表示されます。

ステータス: USBケーブルに繋がったプリンターの状態が表示されます。

- On-Line:プリンターに対し印刷が可能な状態です。
- Off-Line:印刷ができません。

プリント情報 印刷の状態が表示されます。

- Idle:何も印刷されてません。
- Printing:印刷中です。

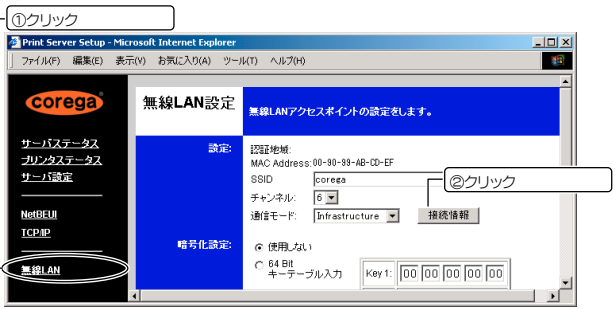
テスト印刷 クリックすることで、テスト印刷が行われます。

注意!! ASCIIコードをサポートしていない一部のプリンターでは、本機能を使用できません。
本機能が動作しない場合は、ご使用のプリンターがASCIIコードをサポートしているかどうかを、メーカー等にお問い合わせください。

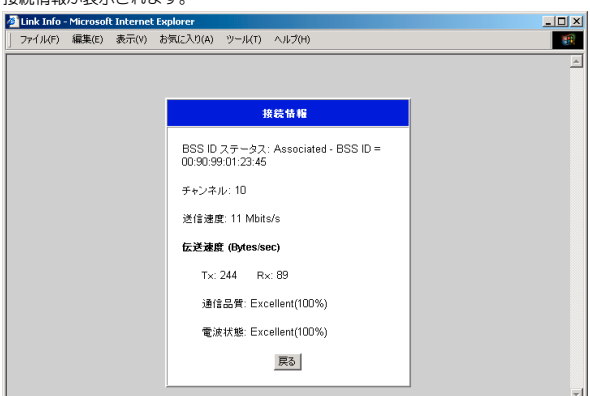
9-3 無線接続状況

無線LANへの接続状況を参照できます。

1 メニューフレームから 無線LAN をクリックし、 接続情報 をクリックしてください。



接続情報が表示されます。



各項目について説明します。

BSSIDステータス:　無線LAN接続に使用されているBSSIDの状態とBSSIDが表示されます。
BSSIDは一般的に無線LANアクセスポイントのMACアドレスが用いられます。

チャンネル:　使用されている無線LANのチャンネルが表示されます。

送信速度:　使用されている送信速度が表示されます。
電波状況などにより、11Mbps、5Mbps、2Mbps、1Mbpsのいずれかが採用されます。

伝送速度:　データ送受信速度が表示されます。
Txは送信速度、Rxは受信速度をあらわしています。

memo　表示した時点での実測時です。
通信データ量が少ない場合などに、実際より低く表示されることがあります。

通信品質:　データ通信の品質が表示されます。

memo　表示した時点での実測時です。
電波状況だけでなく、他の無線LAN機器や有線LANに接続された機器の状態などからも影響を受けます。

電波状態:　使用しているチャンネルの電波状態が表示されます。

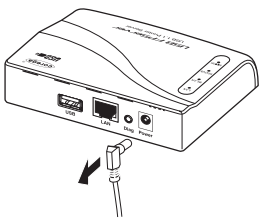
memo　表示した時点での実測時です。
他の通信機器との距離や、妨害電波などの影響を受けます。

9

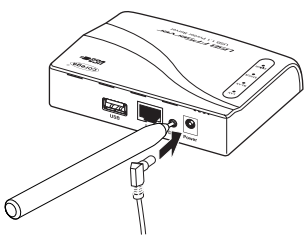
9-4 工場出荷時状態に戻す

設定のミスやパスワードを忘れた場合などに、FPServerの設定内容を工場出荷時の状態に戻し、設定をやり直すことができます。

1 FPServerからACアダプターのDCプラグを抜いて、FPServerの電源をOFFにしてください。



2 Diagボタンを押したままDCプラグを接続し、そのまま約5秒間Diagボタンを押し続けてください。



工場出荷時設定に戻ります。

10 トラブルシューティング

ここでは、本製品使用中のトラブルの代表的な例と、その対処方法について説明します。
主な現象ごとに、その原因と対応方法を説明しています。

10-1FPServer の設定が正常にできない

■ 設定ページが表示されない。

＊ TCP/IPプロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。
「4-5 TCP/IP設定」(☞ p.34)(☞ p.49)を参照し、TCP/IPの設定を確認してください。
＊ 無線カードまたは無線アダプタ-が設定用コンピューターに搭載されていない。
設定のコンピューターに無線カードまたは無線アダプターを付け、動作可能な状態にしてください。
＊ FPServerのIPアドレスの設定が正しくない。
IPアドレスのネットワークアドレス部とサブネットマスクを接続するコンピューターと一致させてください。
＊ プロキシサーバーが設定されている。
WWWブラウザーのプロキシサーバー設定をOFFにしてください。

10-2 無線 LAN カードを装着したコンピューターと通信できない

■ 無線LANカードのドライバーが正しくインストールされていない。

＊ 無線LANカードのドライバーが正しくインストールされていない。
無線LANカードに付属の取扱説明書を参照し、正しくインストールしてください。

■ 有線LANが正しく動作していない。

＊ 接続先機器（PC、HUB、等）のLINK LEDが点灯しない
・接続先の機器(PC、HUB、等)の電源がONになっていることを確認してください。
・UTPケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ 電波状態が悪い

＊ 本製品とコンピューター間の距離を短くしたり、障害物をなくして見通しを良くしてから、再度通信してください。

■ 無線LANカードと本製品の設定があっていない。

＊ 通信モードの設定を合わせてください。
＊ 「ESSID」の設定があっていない。
ESSIDに同じ文字列を設定してください。
＊ 通信相手が「暗号」設定している。
「暗号」設定を解除してください。

■ コンピューターのパワーマネジメント機能、サスペンド機能が動作している。

＊ パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能の設定をOFFにしてください。
memo 詳細については、コンピューターに付属の取扱説明書を参考にしてください。

10-3正常に印刷できない

■ 正常に印刷できない。

＊ プリンターの設定またはドライバーのインストールが正常に行われていない。
FPServerに接続する前に、コンピューターと直接接続し、印刷できることを確認してください。
詳細は、プリンターに付属の取扱説明書を参照してください。

＊ FPServerとプリンターが正しく接続していない。
2章を参考に、接続方法をご確認ください。

＊ FPServerに対し、プリンターの双方向通信機能を使用している。
双方向通信機能を解除してご使用ください。

■ テスト印刷ができない。

＊ ご使用のプリンターがASCIIコードをサポートしていない。
ご使用のプリンターがASCIIコードをサポートしているかを付属の取扱説明書、またはメーカーにてご確認ください。
一部、ASCIIモードをサポートしていても、印刷できない場合があります。

10-4その他

■ IPアドレスの設定方法がわからない

＊ 「4-5 TCP/IP設定」(☞ p.34)(☞ p.49)を参照し、TCP/IPの設定を確認してください。

■ 本製品の使用環境について

＊ 本製品は、電波を使用して通信を行っていますが、ご使用の環境によっては、「通信できない」、「通信速度が遅い」などの問題が発生することが考えられます。
下記の表を参考にして使用環境を調査し、環境に問題がある場合には、本製品の設置場所を変更する、仕切りを取り払う、無線LAN 製品間の距離を短くするなどの対策をお試しください。

	物質の種類	使用環境例
電波を通す物質	木材	木の仕切り、ドア 木造 2 階建ての 1 階と 2 階
	ガラス	ガラス窓、ドア
電波を通さない物質	石、レンガ	石の壁、レンガの壁
	セメント/コンクリート	セメント/コンクリートの壁や床
	鉄	鉄の仕切り、ドア 鉄筋 2 階建ての 1 階と 2 階 防火ガラス(針金入りガラス)

■ パスワードを忘れてしまった

＊ FPServer本体上のDiagスイッチにて工場出荷状態に戻し、再度設定をやりなおしてください。

A 製品仕様

電源部	
入力電圧	AC100V（AC アダプターによる、外部電源型）
最大消費電力	3W
消費電流	250mA(平均)/500mA(最大)
プリンター接続部	
プリンターインターフェース	USB 規格 Version1.1
コネクター	USB シリーズ A ポート
環境条件	
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下(ただし結露なきこと)
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし結露なきこと)
外形寸法	
	120(W)×95(D)×30(H)mm
重量	
	本体 約 156g(AC アダプター除く)
取得承認	
EMI 規格	VCCI クラス B

B 工場出荷時の設定

FPServerは、工場出荷時に以下の設定となっています。

サーバー名	UP******(*はMacアドレスの下6ケタ)
パスワード	(なし)
NetBEUI設定	OFF
ワークグループ名	(なし)
レスポンスタイム	0
DHCP	OFF(固定IPアドレス)
IPアドレス	192.168.0.240
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウエイアドレス	0.0.0.0
通信モード	Ad-hoc
ESSID	corega
チャンネル	6
暗号化(WEP)	OFF
デフォルトキー	1
WEPタイプ	Shared Key

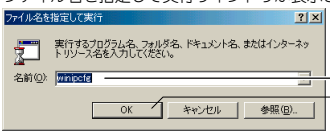
C コンピューターのネットワーク設定を参照する

お使いのコンピューターにどのようなIPアドレス/サブネットマスクが設定されているかを参照する方法を説明します。

Windows Me/98/95の場合：

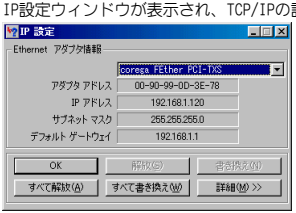
1 スタートから「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。

ファイル名を指定して実行ウィンドウが表示されます。

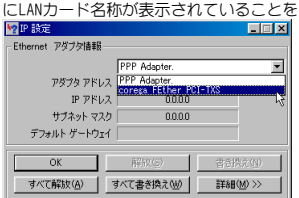


2 入力欄に「winipcfg」と入力し、OK をクリックしてください。

IP設定ウィンドウが表示され、TCP/IPの設定内容が表示されます。



memo IP設定ウィンドウの、プルダウンリストボックスにLANカード名称が表示されていることを確認してください。



付

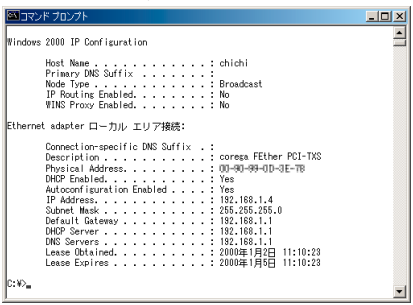
Windows XP/2000/NTの場合：

1 スタートから「プログラム」「アクセサリ」「コマンドプロンプト」をクリックしてください。

コマンドプロンプトウィンドウが表示されます。

2 “ipconfig /all”と入力し、↵を押してください。

ネットワーク設定の内容が表示されます。



付

D 設定ページが表示されない場合

FPServerの設定を行う場合は、WWWブラウザの設定が次の条件を満たしている必要があります。

- プロキシサーバーを使用しない設定になっている。
- オフライン作業になっていない。（オンライン作業になっている）

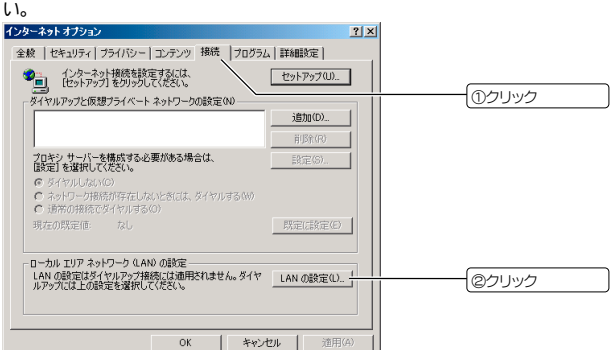
本製品の設定ページが表示されない場合には、次の操作を行ってみてください。

プロキシサーバーを使用しない設定

プロキシサーバーを使用しない設定にする方法について、Internet Explorer 6を例に説明します。

1 メニューから[ツール(T)]-[インターネットオプション(O)...]を選択してください。

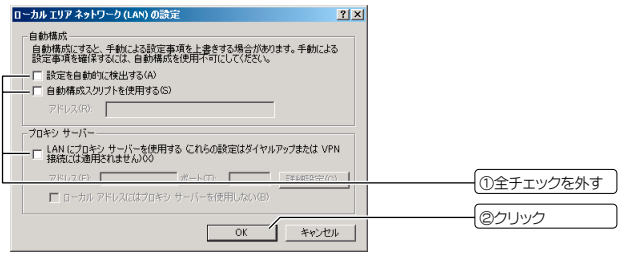
2 接続 タブをクリックし、次に LANの設定(L)... をクリックしてください。



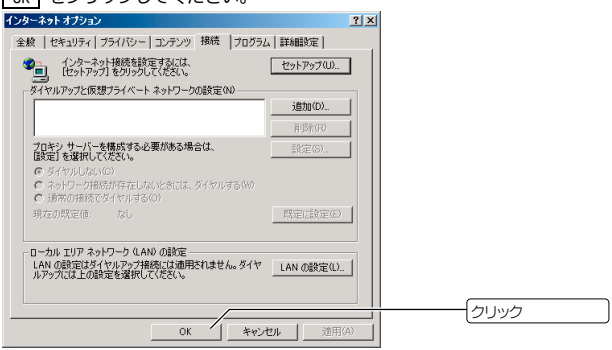
付

3 総てのチェックを外し、OK をクリックしてください。

注意!! 本装置の設定が完了したら、設定内容を元に戻す必要があります。
設定を変更する前に、すべての設定内容を紙などに書き写しておいてください。



4 OK をクリックしてください。



以上で、プロキシサーバーを使用しない設定になりました。

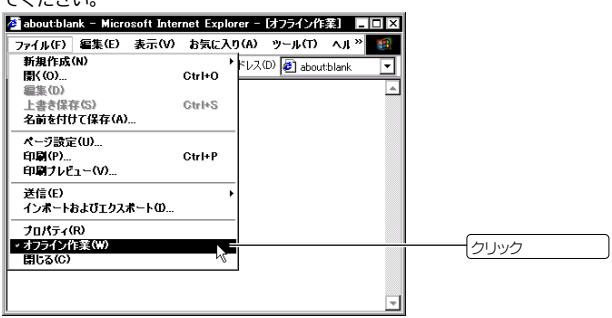
注意!! 本製品の設定が完了したら、元の設定内容に戻してください。
正常にインターネットを利用できなくなる場合があります。

付

オンライン作業にする

WWWブラウザを起動した際に、タイトルバーに[オフライン作業]と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われません。
このため、本装置を正常に設定することができません。

1 メニューから[ファイル(F)]-[オフライン作業(W)]を選択し、チェックを外してください。



付

E MACアドレスについて

Ethernetに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器(アダプター)のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の(unique、ユニークな)アドレスです。

MACアドレスは、下記の6バイト(48ビット)によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品のMACアドレスは、製品に貼付されているMACアドレスラベルに記入されています(表記は全て16進数)。

- ベンダーID
  LANベンダー(LAN用機器を製造しているメーカー)がIEEEに申請することにより得られる識別番号です。
- 通し番号
  この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は6桁の数値となっています。
  この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。

memo MACアドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。
また、MACアドレスは、TCP/IPの環境で使用されるIPアドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

付

F 用語集

●Ad-hoc

「Ad-hoc(Ad-hoc/802.11 Ad-hoc)」モードは無線 LAN ネットワーク構成の１つで、無線 LAN カードを取り付けたコンピューター同士でネットワークを構成する場合に使用します。
コンピューター同士は、ピアツーピアで接続され、お互いのリソースを共有することができます。

●Infrastructure

「Infrastructure」モードは無線 LAN ネットワーク構成の１つで、アクセスポイントを使用し、有線ネットワークと無線ネットワークを統合して 1 つのネットワークとして構成する場合に使用します。

●Microsoft ネットワーク

Windows98/95 などのサーバーサービスを利用するためのソフトウェアです。
通常、プロトコルには「NetBEUI」が使用されます。

●NetBEUI プロトコル

小中規模のネットワークトランスポートプロトコルです。
NetBEUI は、OSI 参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。
これを、NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現されます。
Windows98/95 などでサポートされています。
Windows XP に関しては、NetBEUI はサポートされていません。

●ESSID

「ESSID」(Enhanced Service Set IDentifier)は無線 LAN ネットワークを構成するコンピューター同士を識別する名前です。
同じネットワークに属するコンピューターまたはアクセスポイントは、同じ ESSID を設定しなければなりません。
「ESSID」は、半角英数文字 32 文字以内(大文字、小文字も区別される)で設定します。
(「ESSID」の設定は、「Ad-hoc」モードの場合は無効です。)

付

●TCP/IP プロトコル

インターネットで使用されているプロトコルで、OSI 参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。
TCP/IP プロトコルを使用すると、異なるプラットフォームのコンピューター同士でも通信することができます。

●アクセスポイント

無線 LAN から有線 LAN のネットワーク上のコンピューターと通信するための装置です。

●送信速度

送信速度は、無線 LAN ネットワークを構成するコンピューターが対応している速度から選択することができます。
帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、「Auto(送信速度自動設定)」に設定しておきます。
「Auto」に設定すると、送信速度はネットワークを構成するコンピューターに合わせて自動的に調整され、最適な速度で通信できるようになります。

●チャンネル

無線 LAN 通信で使用される、IEEE802.11 のデフォルトのチャンネルを設定します。

●ピアツーピア接続

コンピューター同士が、1 対 1 で対等に行う通信です。
サーバーとクライアントのように機能を分化せず、お互いの機能を利用して通信を行い、ファイルやプリンターなどの資源を共有することができます。

●無線 LAN

配線を必要としない LAN(Local Area Network)のことです。
１つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で、電波や赤外線、レーザーを使用してネットワークを構築します。

G 保証と修理について

保証について

本書に記載されている、「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。
無条件で製品を保証するということではありません。
正しい使用法で使用した場合のみ、保証の対象となります。
また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。
詳しくは、本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。
また、本製品（ユーティリティーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

修理について

故障と思われる現象が発生した場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。
現象が改善されない場合は、巻末の「調査・修理依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書および購入日を証明できるもののコピー(レシート等)を添付し、弊社サポートセンター宛に製品をお送りください。

注意!! 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象になりませんので、ご注意ください。

memo 申し訳ありませんが、直接来社されてのサポート依頼は、受け付けておりませんので、製品は必ず宅配便などでお送りください。

製品を送られる場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社サポートセンターへ製品を送られる場合の送料につきましては、送り主様のご負担とさせていただきます。
  なお輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。（普通郵便による送付は、固くお断りいたします。）
- 修理期間は、製品到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。
- 製品送付先

  〒 222-0033横浜市港北区新横浜1-19-20

  (株)コレガ　coregaサポートセンター宛

付

H ユーザーサポートについて

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。
できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。
FAXによって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel:　045-476-6268
　　月～金（祝・祭日を除く）
　　10：00～12：00、13：00～17：00

Fax:　045-476-6294

corega Net-News の購読について

■ coregaのホームページにアクセスしてください！

http.//www.corega.co.jp/

coregaホームページにアクセスすれば、商品の詳細やＰＣ動作検証リストはもちろん、ＦＡＱなどコレガに関するすべての情報が入手できます。
ダイレクトショッピングからドライバーのダウンロードまで、便利なサービスも満載で、何でもおまかせのホームページです。

■ 「corega Net-News」のご案内

「corega Net-News」はコレガ社がお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など、耳よりな情報をお届けいたします。メール配信サービスをご希望のお客さまは、coregaホームページでご登録ください。尚、メール配信サービスはどなたでもご登録いただけます。

調査・修理依頼書のご記入のお願い

調査・修理依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。
記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ ハードウェアとソフトウェア

* 本体裏面に貼られたラベルに記入されている下記のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。

（例）

* ご使用になっているソフトウェアの種類／バージョン（Ver.）／シリアル番号を記入してください。
それらは、ユーティリティーディスクのラベル上に記入されています。

* 他社のインターフェースボードやユーティリティーをご使用の場合は全てご記入ください。

■ お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。

* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトしたものなどを添付してください。

* 障害などが発生する場合には、本アダプターと併用されているユーティリティーや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

■ ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

付

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2002株式会社コレガ

coregaは、株式会社コレガの登録商標です。

Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

その他、この文書に記載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2002年5月　　Rev.A　初版

調査・修理依頼書 (corega USB FPServer 1/2)

年　月　日

一般事項

1．会社名(個人名):　　フリガナ:
部署名:　　ご担当者:
ご連絡先住所 〒

TEL:(　　)　　FAX:(　　)

2．購入先:　　購入年月日:
購入先担当者:　　購入先 TEL:(　　)

ハードウェアとソフトウェア

1．ご使用のカードのシリアル番号、製品リビジョン

製品名：corega USB FPServer　　S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev ＿＿

ファームウェアのバージョン：Ver.＿＿＿＿ pl.＿＿＿＿

2．ご使用のプリンター情報
メーカー名
機種名

3．ご使用のコンピューターと、併用している無線LANアダプター（ボード）の情報
コンピューターのメーカー名／機種
OSとバージョン
無線LANアダプターのメーカー名／機種
ご使用のサーバー情報

4．コンピューターのメーカー名／機種
OSとバージョン

お問い合わせ内容

□別紙あり　　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　□設置後運用中に起こっている障害

調査・修理依頼書 (corega USB FPServer 1/2)

年　月　日

ネットワーク構成

□別紙あり　　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします.

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

- ハードウェア本体：製品保証書に記載の保証期間で無償保証とします。（ただし、本規定の他の条項に準じます。）
- 電源アダプター／電源ケーブル：1年保証
- 本体付属品（ディスク）：3ヶ月保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合
9. 本製品のファームウェアのアップデートを弊社に依頼された場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責をー切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名　corega USB FPServer

シリアル番号
（S／N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

corega サポートセンター
TEL ：045-476-6268　FAX ：045-476-6294
〒222-0033横浜市港北区新横浜1-19-20
受け付け時間：10:00～12:00／13:00～17:00
月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。